2027年3月期 第2四半期
決算説明会



扶桑化学工業株式会社

2026年11月12日
東証プライム(4368)

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

目次

Ⅰ. 2027年3月期　第2四半期決算概要　取締役　伊藤　裕之

Ⅱ. 事業の概要　代表取締役社長　杉田　真一

■ ライフサイエンス事業
■ 電子材料事業

Ⅲ. 2027年3月期　業績予想　代表取締役社長　杉田　真一

Ⅳ. Q&A

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ．2027年3月期 第2四半期決算概要

FUSO CHEMICAL

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

2027年3月期 第2四半期決算概要

（単位：億円）	当期実績	前年同期比			期初計画比		
		前期実績	増減額	増減率	公表計画	増減額	増減率
売上高	455.9	377.0	+78.9	+20.9%	431.0	+24.9	+5.8%
営業利益	132.9	97.4	+35.4	+36.4%	116.0	+16.9	+14.6%
経常利益	133.5	98.0	+35.4	+36.2%	117.0	+16.5	+14.2%
中間純利益	116.6	68.7	+47.8	+69.5%	78.5	+38.1	+48.6%
償却前営業利益	194.0	143.2	+50.7	+35.4%	178.0	+16.0	+9.0%
１株当たり中間純利益	110.2円	65.0円	+45.1 円		74.1円	+36.0 円	

※1株当たり中間純利益は株式３分割後

売上高･各利益　半期決算の過去最高

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

セグメント別売上高・営業利益 【前期比】

（単位：億円）		当期実績	前年同期比 前期実績	増減額	増減率
ライフサイエンス事業	売上高	198.2	177.8	+20.4	+11.5% ↗
	営業利益	34.4	25.1	+9.3	+37.1% ↗
電子材料事業	売上高	257.6	199.2	+58.4	+29.3% ↗
	営業利益	112.2	84.2	+27.9	+33.2% ↗
（調整額）		△13.7	△11.9	△1.8	－
営業利益（全社）		132.9	97.4	+35.4	+36.4% ↗

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

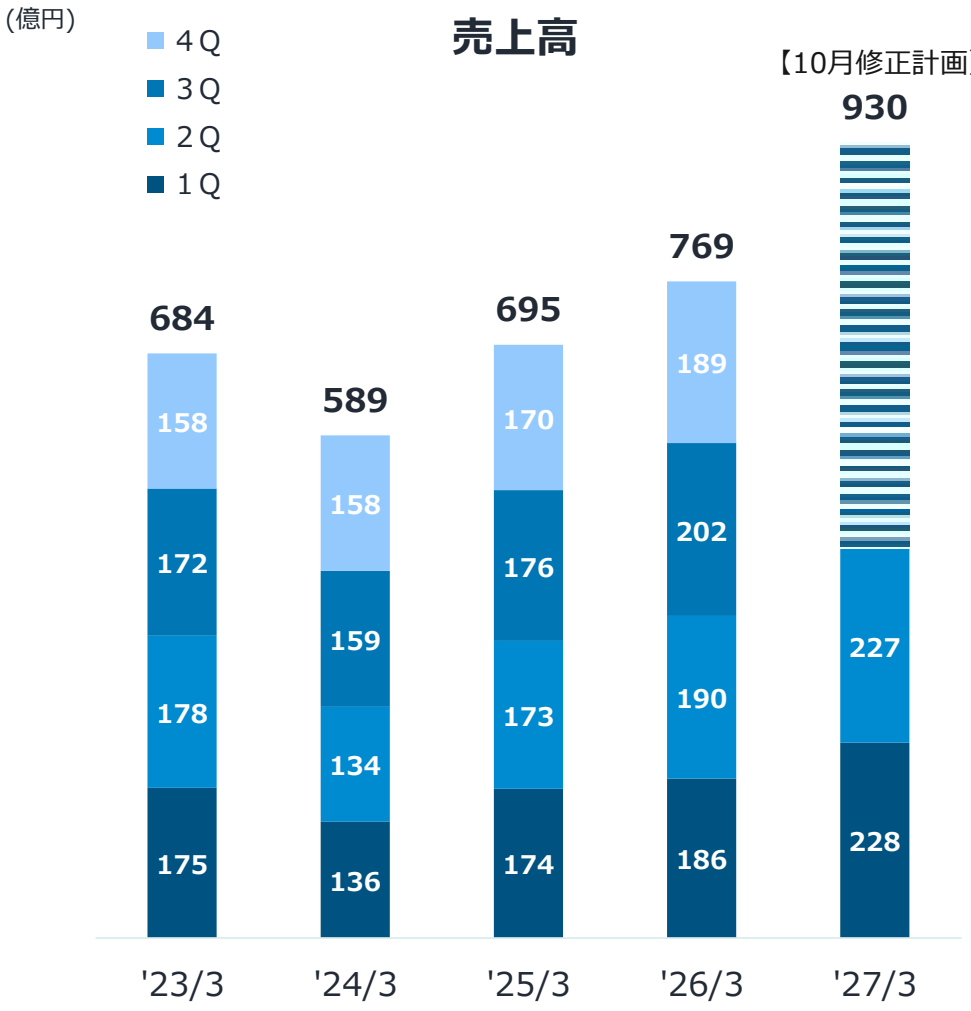
2027年3月期　上期業績

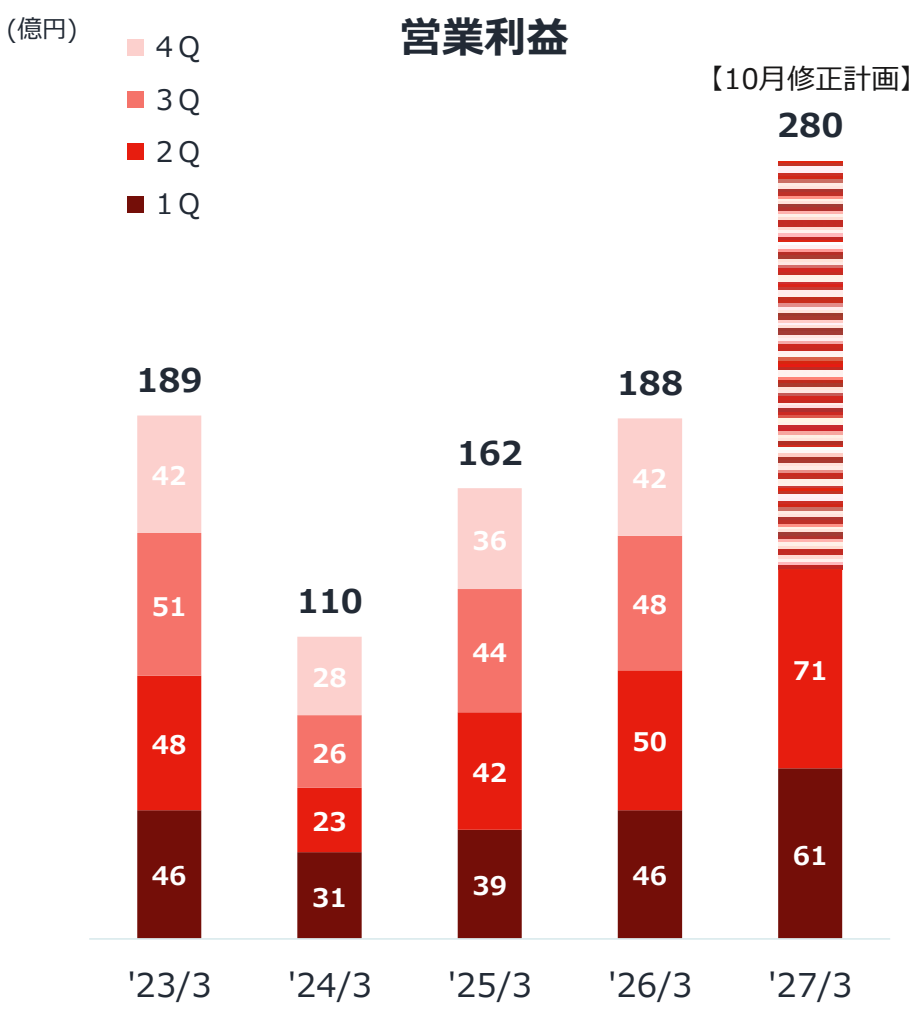
（単位：億円）	'27/3月期 1Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'27/3月期 2Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	228.1	+41.6	+22.3%	227.7	+37.2	+19.6%
営業利益	61.7	+14.7	+31.5%	71.2	+20.6	+41.0%
経常利益	63.6	+18.3	+40.4%	69.9	+17.1	+32.6%
四半期純利益	66.8	+35.8	+115.4%	49.7	+11.9	+31.8%
償却前営業利益	91.9	+23.0	+33.3%	102.0	+27.7	+37.3%
１株当たり四半期純利益	63.2 円	+33.8 円		47.0 円	+11.3 円	

※1株当たり四半期純利益は株式３分割後

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

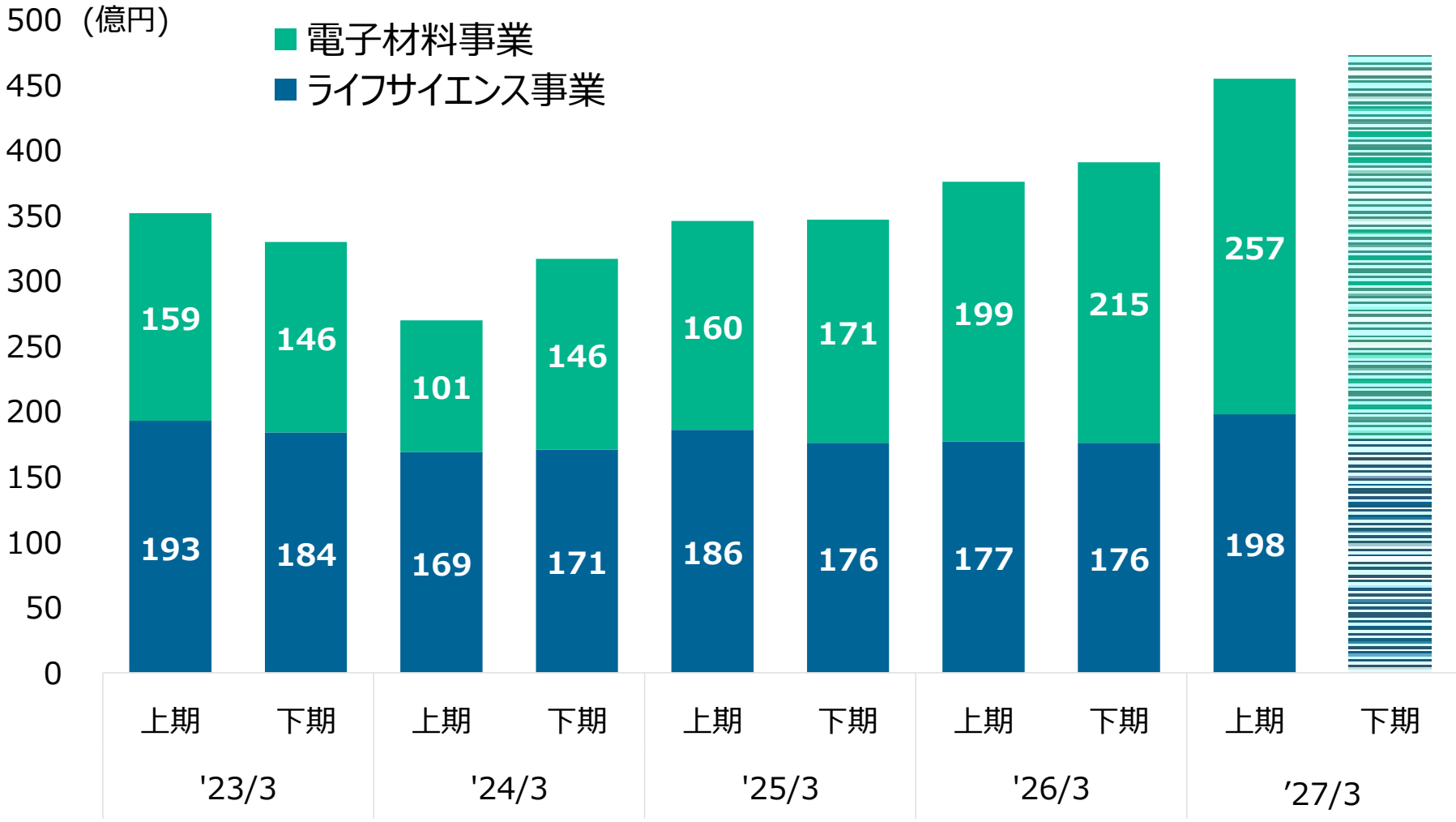
四半期別業績推移





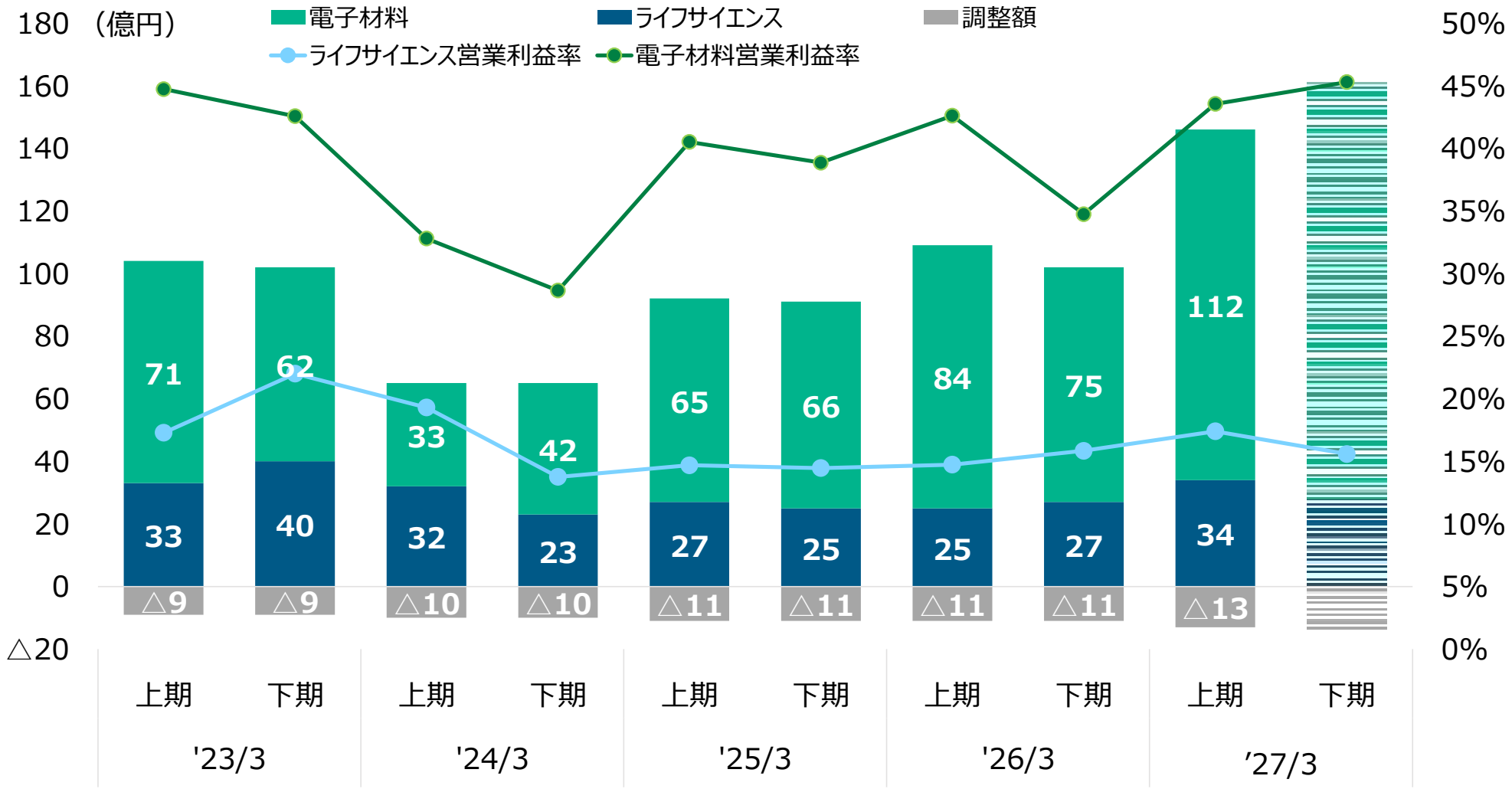
© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

セグメント別 【売上高】



© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

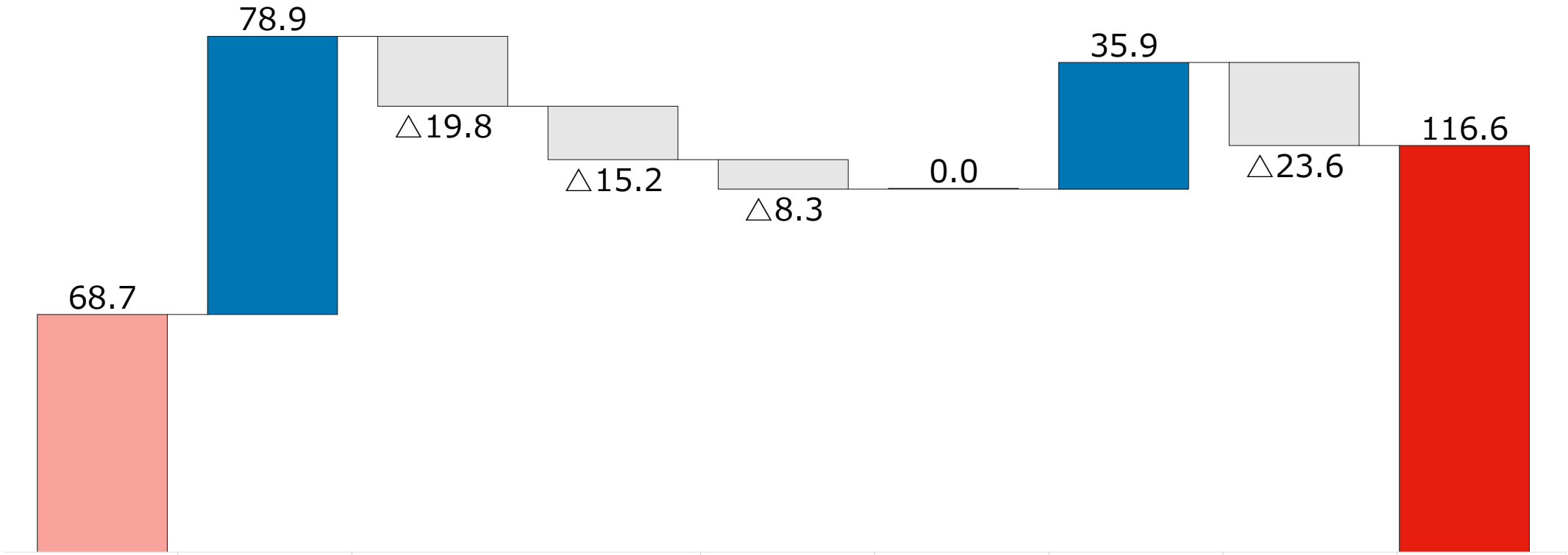
セグメント別 【営業利益】



© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

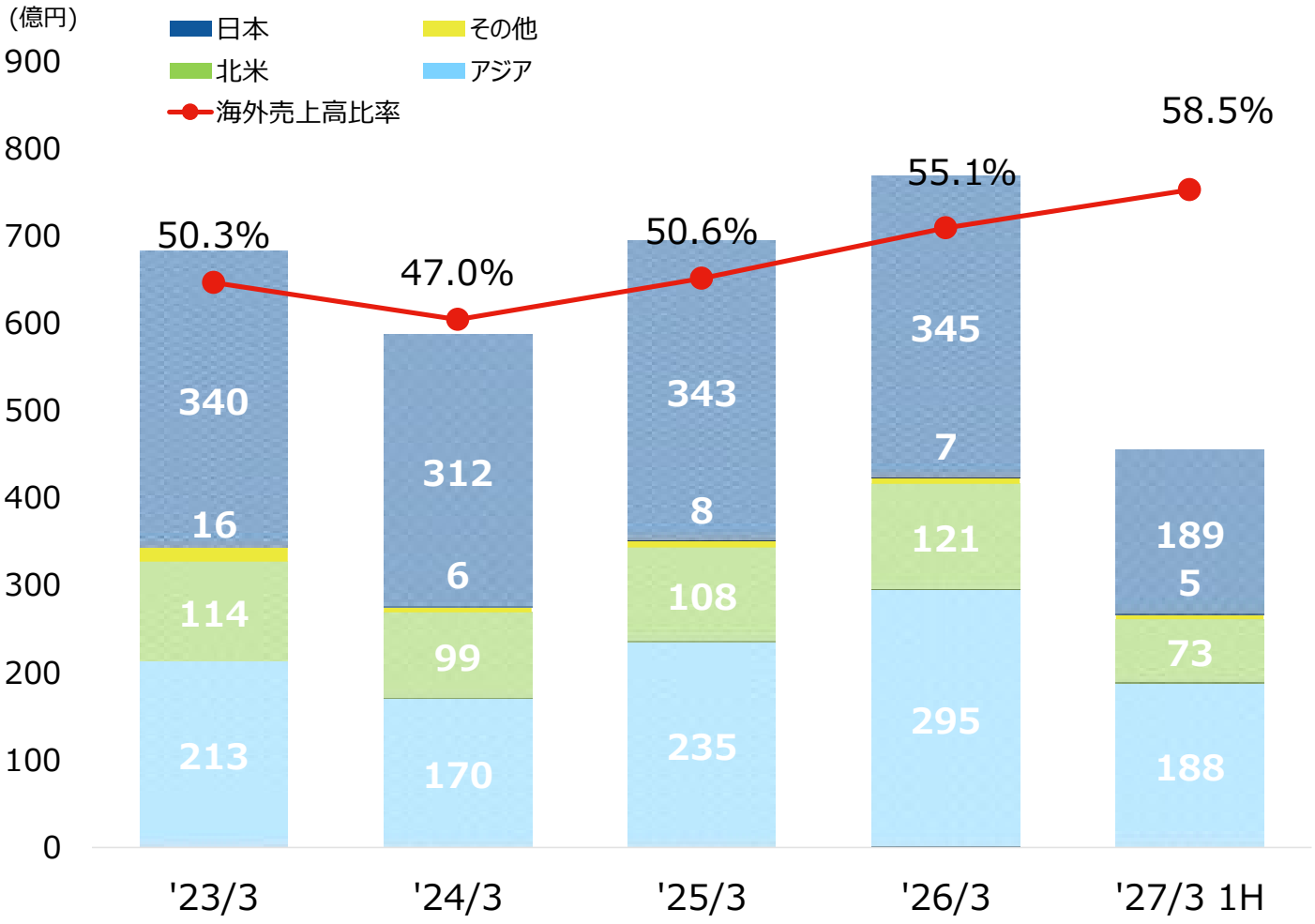
2027年3月期　第2四半期　中間純利益増減要因

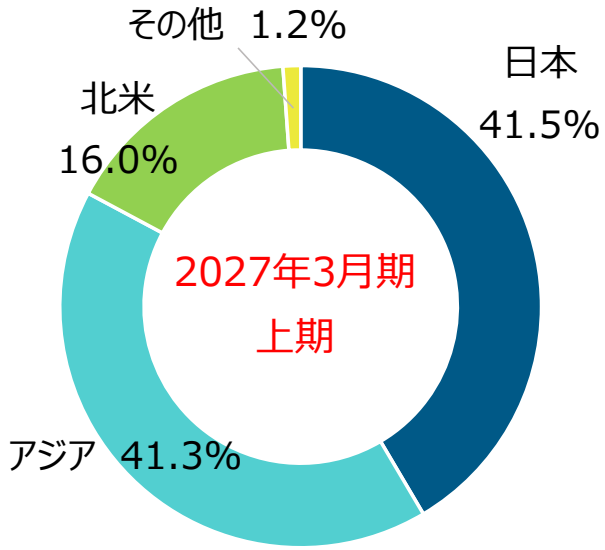
（単位：億円）

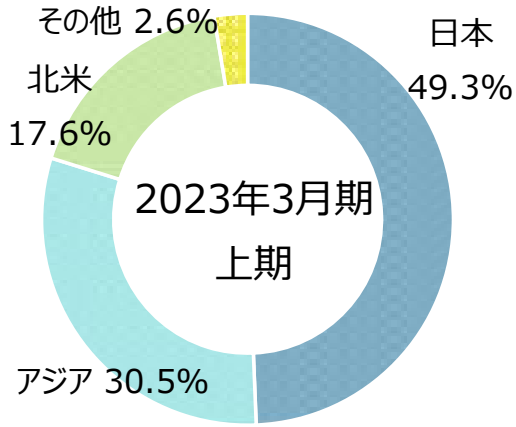


© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

海外売上高

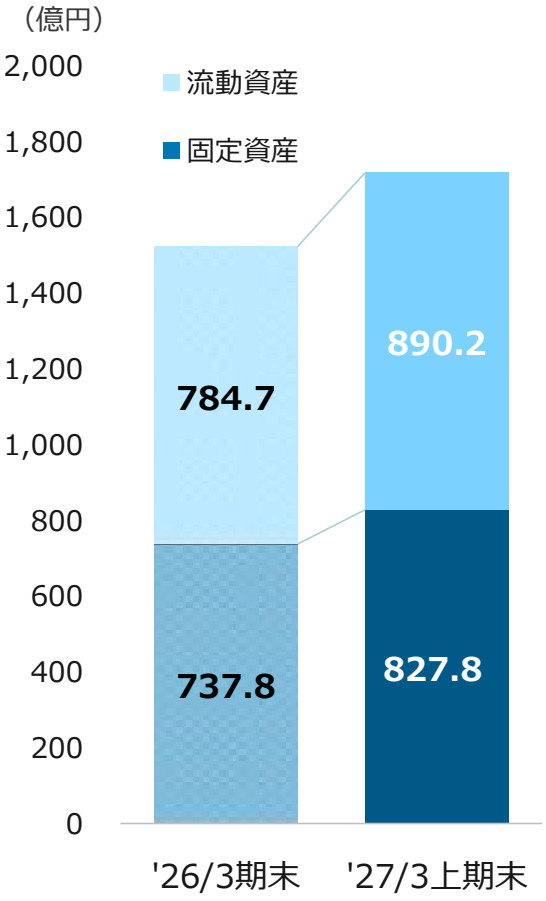






© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

資産・負債・純資産

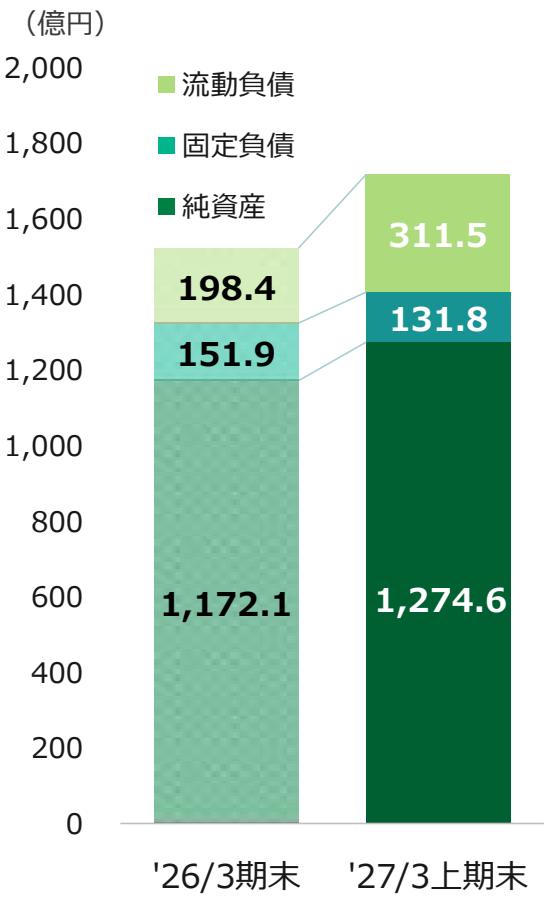


流動資産　(前期末比　+105億)

- 現金及び預金　+74億
- 受取手形及び売掛金　+31億
- 棚卸資産　+16億
  製商品、仕掛品、原材料・貯蔵品

固定資産　(前期末比　+90億)

- 建物および構築物　△6億
- 機械装置および運搬具　△32億
- 無形固定資産　△7億
- 建設仮勘定　+137億



流動負債　(前期末比　+113億)

- 買掛金　+8億
- 1年内返済予定の長期借入金　±0
- 設備関係未払金　+83億
- 未払法人税等　+19億

固定負債　(前期末比　△20億)

- 長期借入金　△20億

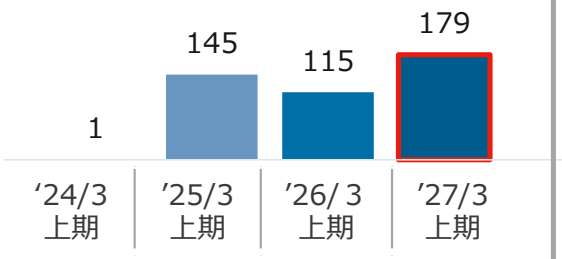
純資産　(前期末比　+102億)

- 利益剰余金　+102億

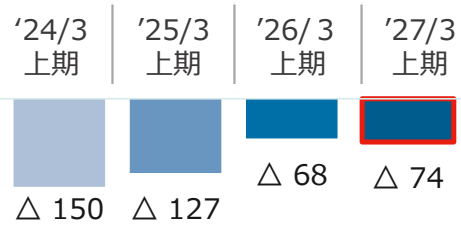
© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

キャッシュフロー

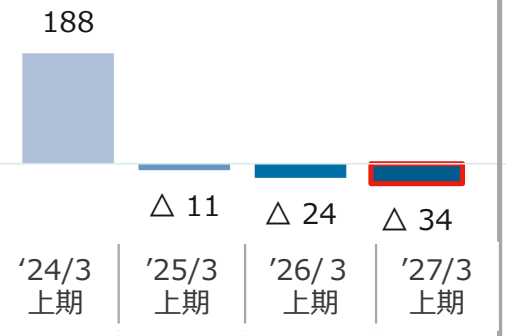
営業キャッシュフロー



投資キャッシュフロー

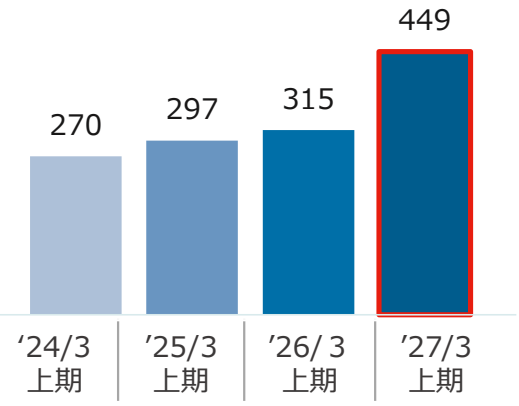


財務キャッシュフロー



現金及び現金同等物 期末残高

（単位：億円）



■ キャッシュフロー主な内訳

営業活動によるキャッシュフロー

- 税金等調整前当期純利益　＋169
- 減価償却費　＋61
- 法人税等の支払額　△33

投資活動によるキャッシュフロー

- 有形固定資産の取得　△67

財務活動によるキャッシュフロー

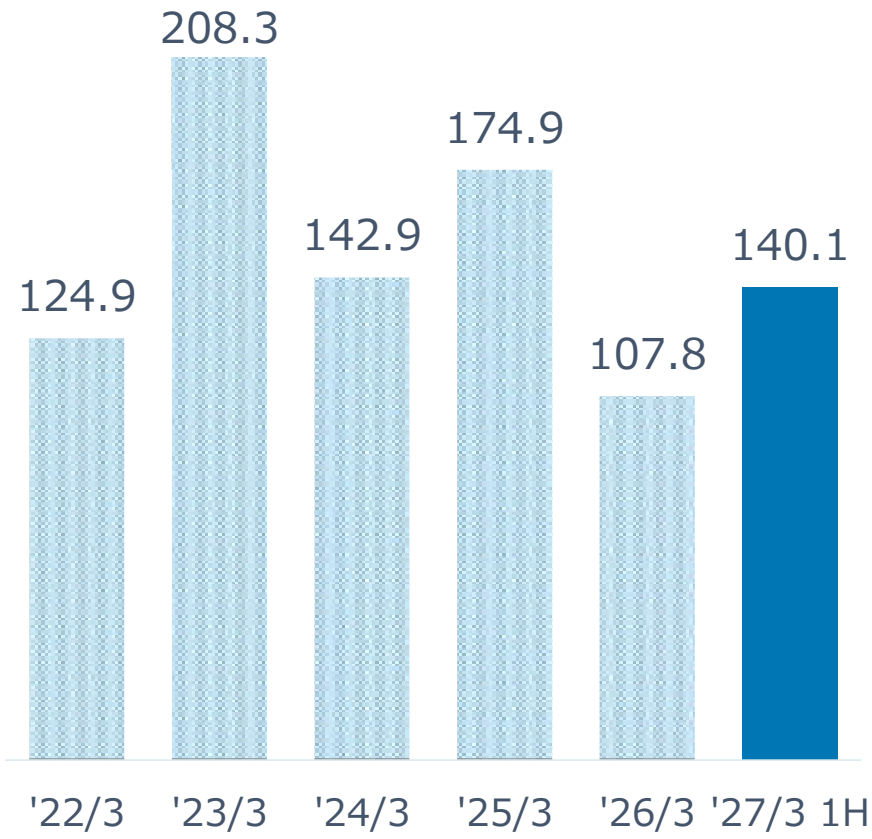
- 長期借入金の返済　△20
- 配当金の支払　△14

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

設備投資額・減価償却費・研究開発費

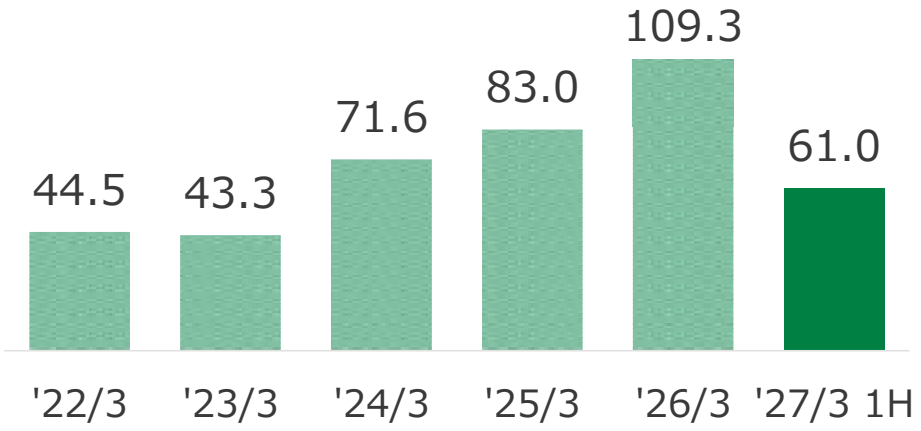
設備投資額

（単位：億円）



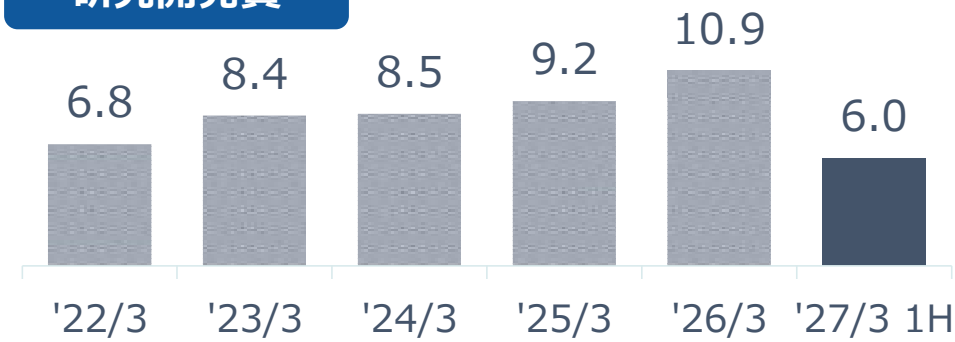
減価償却費（のれん償却含む）

（単位：億円）



研究開発費

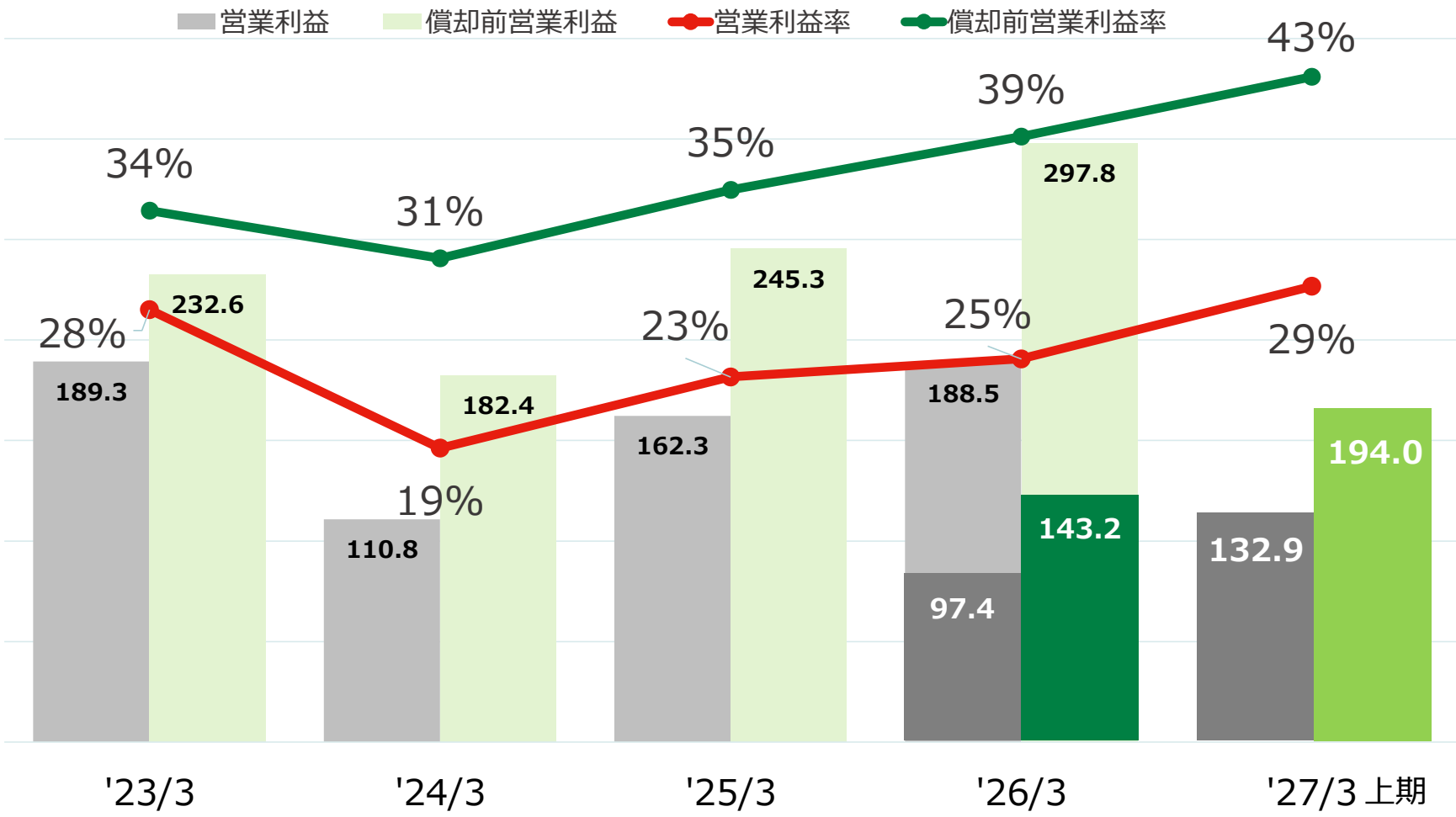
（単位：億円）



© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

償却前営業利益

（単位：億円）



© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅱ．事業の概要

ライフサイエンス事業

FUSO CHEMICAL

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

事業内容

ライフサイエンス事業



- リンゴ酸類
- クエン酸類
- グルコン酸類
- フマル酸類
- ビタミンC類
- 食品添加物製剤類
- その他果実酸類
  （コハク酸類、乳酸類、酒石酸類）
- 無水マレイン酸類
- 高純度有機酸






電子材料事業



- 電子材料
  - 超高純度コロイダルシリカ
- 機能性材料
  - シリカナノパウダー
  - 中空シリカ
  - 高純度オルガノシリカゾル
  - アルキルシリケート



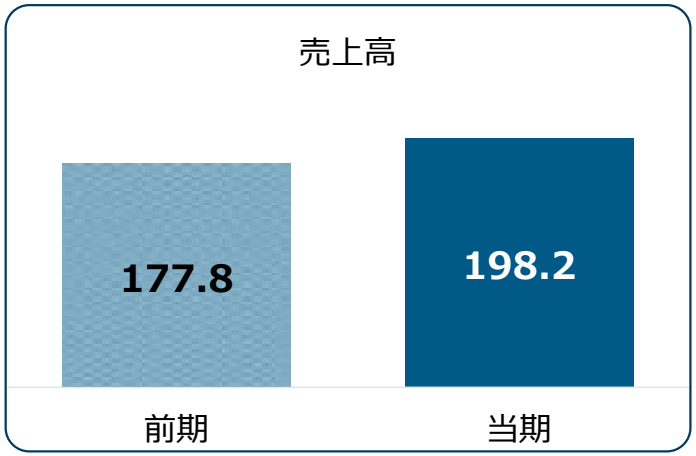


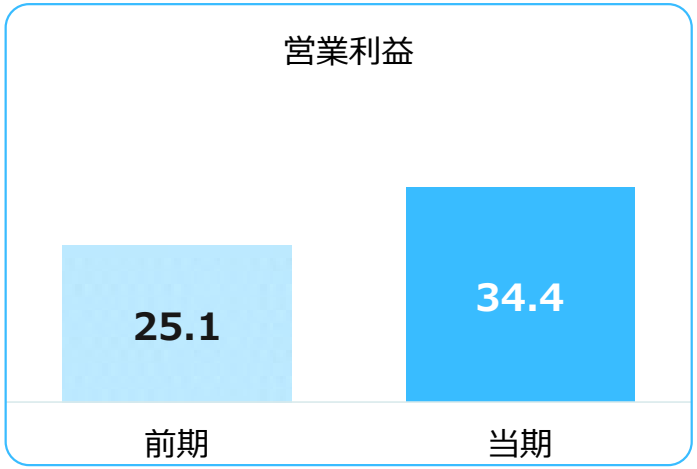

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

ライフサイエンス事業　上期概況

（単位:億円）	前期	当期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	177.8	**198.2**	+20.4	+11.5%↗
営業利益	25.1	**34.4**	+9.3	+37.1%↗

	売上高　増減要因	営業利益　増減要因
＋	• 北米でのグルコン酸類の販売拡大 • リンゴ酸輸出販売の拡大 • 海外食添関連製品の販売増加	• 価格改定 • リンゴ酸稼働率向上 • 海外子会社の利益貢献
－	• アスコルビン酸類の販売数量減少 • グルコサミン需要低調 • 中国リンゴ酸塩類低調	• 主原料起因の生産制約によるコスト影響 • 円安による調達コスト増





単位：億円

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

2026年度　重点施策

Ⅰ．グローバル連携強化

- 海外子会社と一体になった事業戦略
- 果実酸の海外市場シェア拡大
- 食品添加物製剤のアジア向け拡販



Ⅱ．　国内シェア確保

- 主力商品群のシェア確保　＊クエン酸類／ビタミンC類
  ＊リンゴ酸類／フマル酸

Ⅲ．　FFA製品の見直し・強化

- グローバル視点での開発体制構築
- 新規開発品のスピーディな上市
- 食品添加物製剤のアプリケーション提案強化



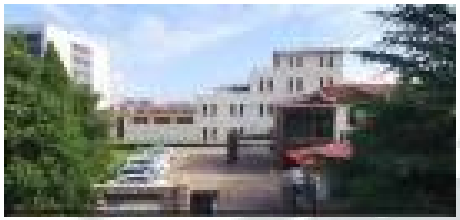
Ⅳ．　自社グループ製造品強化

- 外部製造品目の見直し
- 安定高稼働・効率化に向けた設備投資

Life Science

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ－1. 海外子会社と一体になった事業戦略



青島扶桑精製加工有限公司

- 国内販売：前年比5%増
- 新製品　：前年比15%増
- 品質改良剤製品好調

PMP Fermentation Products, Inc.

- **グルコン酸類の製造キャパ強化**
- **果実酸の海外市場シェア拡大**

- 稼働率　　：前年比5%アップ
- リンゴ酸販売：前年比40%増

中国

タイ

USA

扶桑化学工業



- **食品添加物製剤のアジア向け拡販**
- **ベトナム市場での拡販**
- **顧客ニーズに応える製品開発**



FUSO(THAILAND)CO., LTD.

- リンゴ酸販売：前年比5%増
- ベトナム販売競争激化で前年割れ
- 水産・畜肉向け製品好調

日本

- **最適生産・開発・販売体制推進**
- **リンゴ酸プラントの安定高稼働**

- 値上の浸透
- 安定高稼働の維持

FUSOブランド確立

技術力　**製品力**　**供給力**

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ－2. 果実酸の海外市場シェア拡大

2026年度計画

リンゴ酸類

北米、欧州での販売強化

- 市場に応じた戦略的な価格対応で販売量増
- 北米、欧州での販売量増、新規取引先への販売強化
- 積極的な新規用途開拓（農業資材・農薬用途など）

グルコン酸類

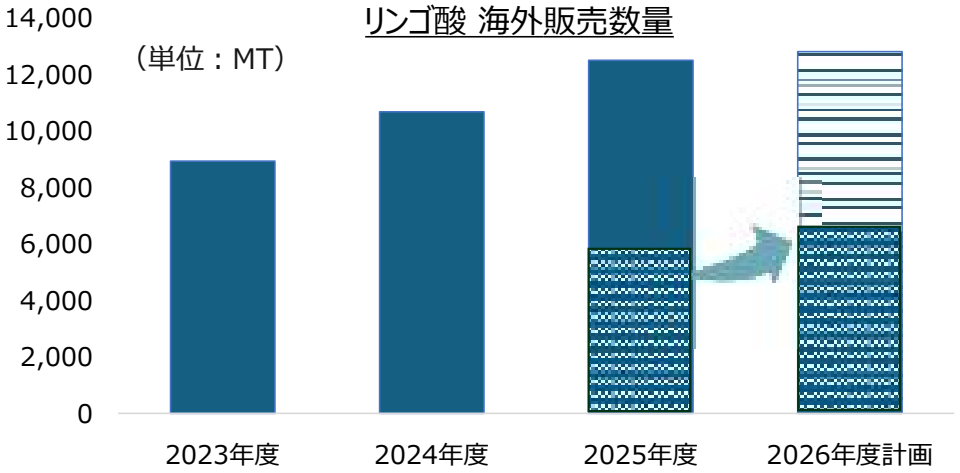
供給・販売体制強化

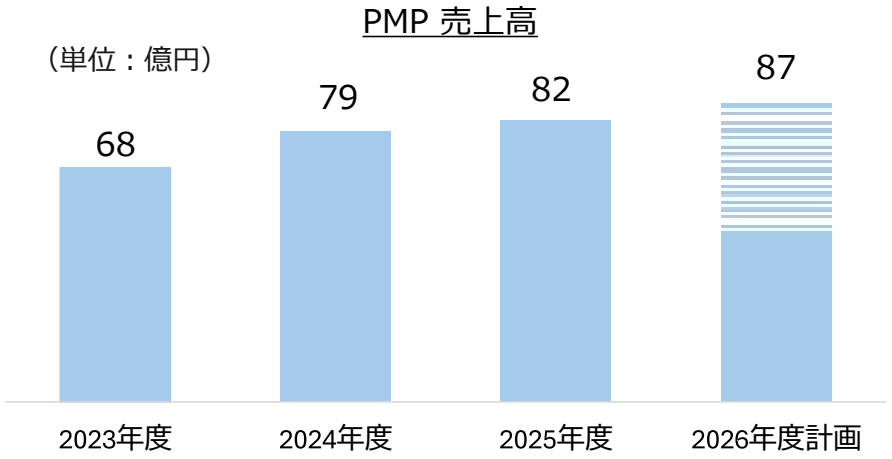
- 米国子会社（PMP Fermentation Products, Inc.）

2026年度上期実績

- 輸出物量：前年比10%増、欧州・北米増、アジア減
- 販売価格：前年比20%アップ
- 新規取引先への販売強化（アメリカ、中国等で新規20件）

- シェア奪還：72% ⇒ 76%、販売物量 ：前年比10%増
- 結晶缶および付帯設備増設中（2027年12月完成予定）





© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅱ－1. 国内シェア確保

2026年度計画

リンゴ酸類

- 大口ユーザーでのシェア維持・アップ
- リンゴ酸塩類内製化による競争力向上
- 母液製品の拡販

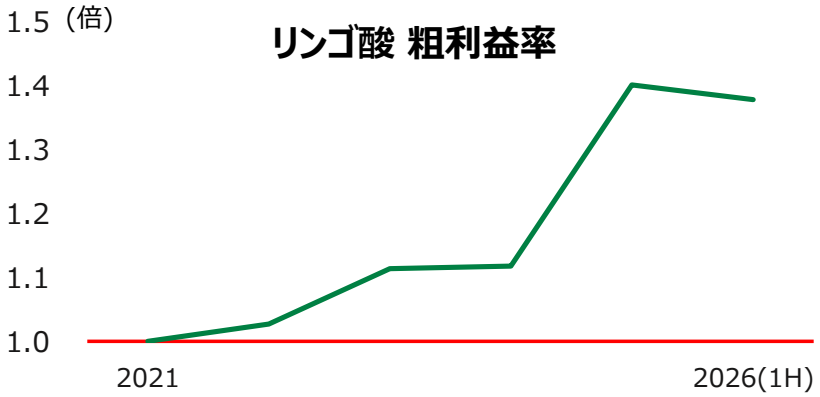
クエン酸類

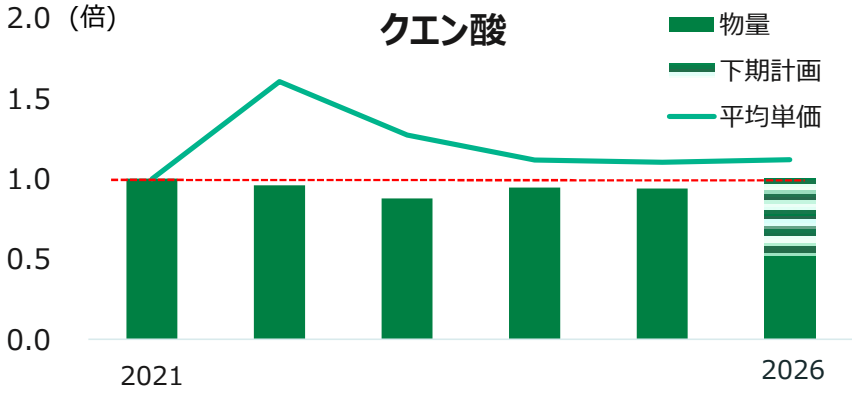
- 価格動向を注視した入札案件の獲得
- 原料動向に対応した価格改定の随時実施
- 大手飲料・大口洗剤メーカー向け数量確保

2026年度上期実績

- 価格改定の浸透：前年比5%アップ
- 粗利益増加：原料価格増転嫁、工業用途堅調
- 販売物量：前年比5% 増
- 洗浄用途向け販売：母液利用洗浄剤15%増

- 販売物量：前年比10%増 大手新規先獲得
- 工業・半導体用途：需要堅調
- 販売価格：原料高を受けて価格改定
  粗利益減少：価格改定実施するも想定以上原価アップ





© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅱ－2. 国内シェア確保

2026年度計画

ビタミンC類

- 高付加価値ビタミンCシェアアップ
- 柔軟な価格政策によるロスト先奪回
- 入札案件の確実な取り込み

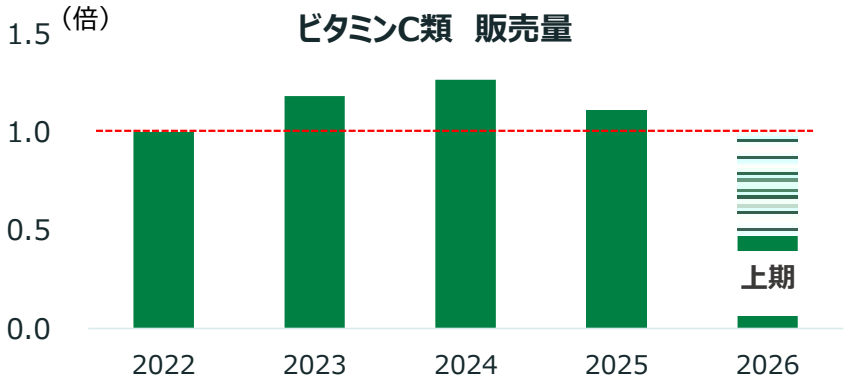
フマル酸

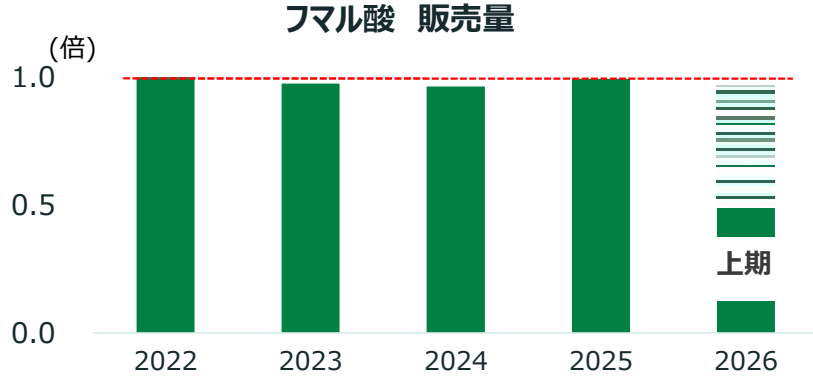
- 大手顧客でのシェア維持
- 柔軟な価格対応により大手需要先奪回
- 入札案件の確実な取り込み

2026年度上期実績

- 飲料用途物量：大手顧客向物量減
- 医薬用途苦戦（需要減少）：物量25%ダウン
- 新規顧客獲得：サプリ向けに受注

- 物量10%減も、市況価格上昇により売上高はアップ
- コストアップ転嫁のため、物量増には至らず
- 海外向け販路開拓中（台湾他）





© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅲ. FFA製品の見直し･強化

2026年度計画

グローバル視点での開発体制構築

- 日本、中国、タイの連携を強化
- 東京研究所拡張による顧客サービス向上

新規開発品のスピーディな上市

- 開発～生産～販売体制の連携強化
- 自社グループ設備を最大限有効活用

食品添加物製剤のアプリケーション提案強化

- 青島扶桑製造品目の日本市場への展開
- 顧客（マーケット）ニーズの確実な拾い上げ

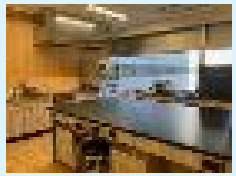




※FFA：食品添加物製剤、機能性食品素材･食品添加物、機能性果実酸

2026年度上期実績

- 日本、中国定期情報交換会実施
- 東京研究所　2名増員



東京研究所（かながわサイエンスパーク）

- 中国での開発加速（上期：9品目新商品上市）
- 日本開発品を中国で生産、販売（2品目）

- 中国製造品目の日本市場への上市（1品目）
- 品質改良剤（マスキング剤）の要望大



FFA食添製剤生産開発拠点

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅳ. 自社グループ製造品強化

2026年度計画

外部製造品目の見直し

- 内製化率 75% を目指す
- 外部製造品のグループ内製造による原価低減
  内製化ターゲット：果実酸塩類、食添製剤
  拠点候補：大阪工場、青島扶桑
- 低収益、販売減品目の統廃合

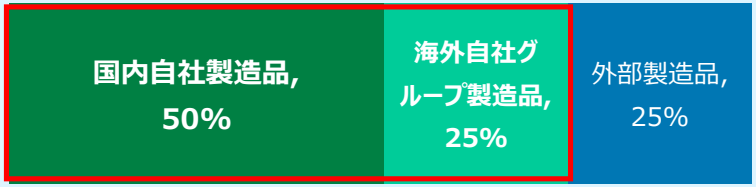
安定高稼働・効率化に向けた設備投資

- 大阪工場　：新事務棟新設（試験室含む）
- 鹿島事業所：タンク補修工事
- PMP　　：結晶缶および付帯設備増強

2026年度上期実績

- 前年比2%アップ（73% ⇒ 75%）
- 内製化ターゲット品製造方法検討開始
- 低収益、販売減品目の統廃合：検討中

2026年度上期 販売実績



- 大阪工場　：9月末より基礎工事に着手
- 鹿島事業所：2026年9月完了
- PMP　　：2027年12月完成予定

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

※　中東情勢による事業への影響（アップデート）

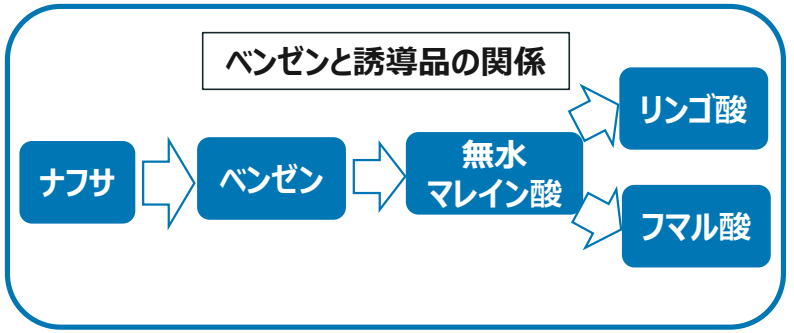
● リンゴ酸・フマル酸・無水マレイン酸

ナフサ流通網混乱継続によりベンゼン（主原料）の価格は高止まり

⇒ アジア市場は需給タイトで足元10月時点では年初来高値更新

- ベンゼン調達見通しの不透明感は解消しつつあるが、高値は継続見込
- 無水マレイン酸プラントは定修明けも原料確保を優先して稼働維持
- 無水マレイン酸の外部調達によりリンゴ酸・フマル酸の稼働低下を回避
- ベンゼン価格高止まりに伴い、価格改定を実施

⇒　１Qより値上げ実施（リンゴ酸で対期初で平均単価11%UP）
足元価格改定開始時よりもベンゼン価格は高水準で推移



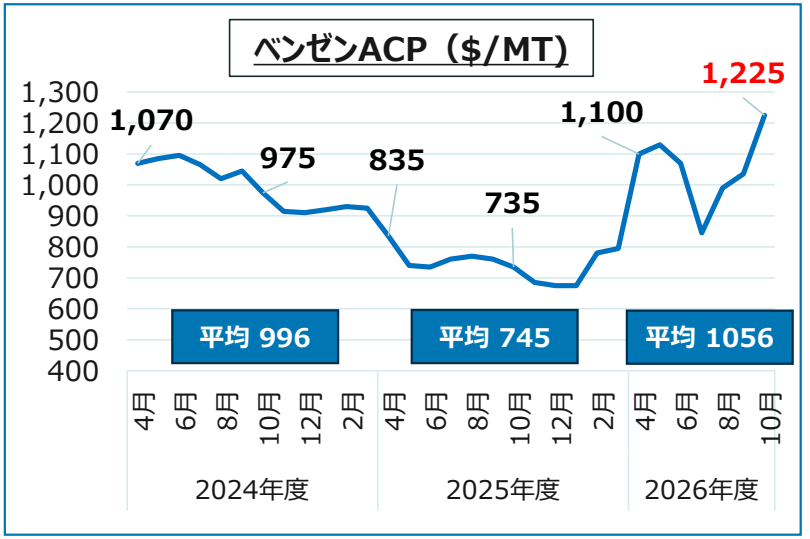
● クエン酸

- 硫黄流通遮断による硫酸（副原料）の価格高騰により**仕入価格上昇**

⇒　１Qより値上げ実施（クエン酸で対期初で平均単価5%UP）

● グルコン酸・ビタミンC、全品目共通

- 中東情勢による直接的な影響は現状認められず
- 包材等の物流資材の調達不安定化と価格高騰



© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅱ．事業の概要

電子材料事業

FUSO CHEMICAL

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

事業内容

ライフサイエンス事業



- リンゴ酸類
- クエン酸類
- グルコン酸類
- フマル酸類
- ビタミンC類
- 食品添加物製剤類
- その他果実酸類
  （コハク酸類、乳酸類、酒石酸類）
- 無水マレイン酸類
- 高純度有機酸






電子材料事業



- **電子材料**
  - **超高純度コロイダルシリカ**
- **機能性材料**
  - **シリカナノパウダー**
  - **中空シリカ**
  - **高純度オルガノシリカゾル**
  - **アルキルシリケート**





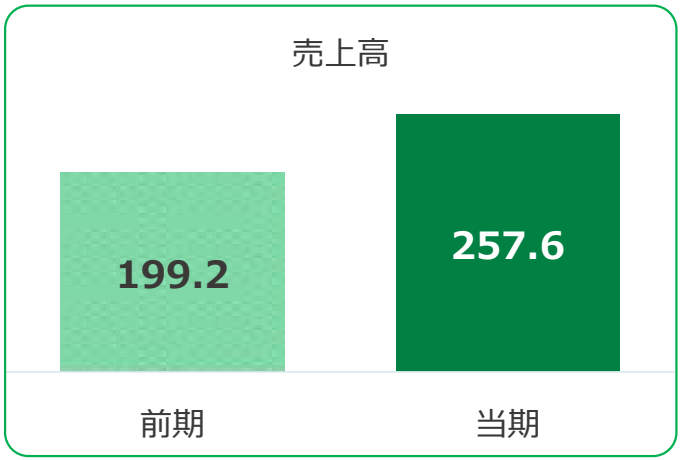

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

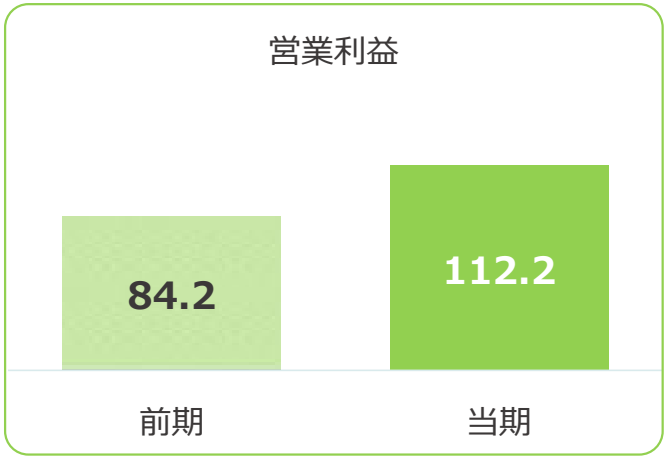
電子材料事業　上期概況

（単位:億円）	前期	当期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	199.2	**257.6**	＋58.4	＋29.3% ↗
営業利益	84.2	**112.2**	＋27.9	＋33.2% ↗

売上高　増減要因	
＋	• コロイダルシリカ販売数量増 • 好調なAI半導体向け需要 • 価格転嫁 • 円安効果
－	• PC/スマートフォン向け等の需要低調

営業利益　増減要因	
＋	• 販売増に伴う稼働率UP • 生産における効率化 • 価格転嫁 • 円安効果
－	• 人件費の増加 • 資材コストの上昇





単位：億円

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

2026年度　重点施策

Electronic Materials

Ⅰ．急拡大する半導体市場への対応

1．生産能力のアップ

- 新ライン(鹿島Ⅱ期)の早期認定
- 高濃度化及び高生産性製品の拡充、計画生産の実現
- マルチ認定化/既存設備の運用最適化/保全改善/立上げ短縮

2．次世代に向けての取り組み

- 最先端半導体・アドバンスドパッケージ向け製品開発
- 次期設備投資に向けた情報収集・価格戦略構築





Ⅱ．外部環境変化への迅速・柔軟な対応

- コストアップの価格転嫁
- サプライチェーンリスクへの対応、中東情勢

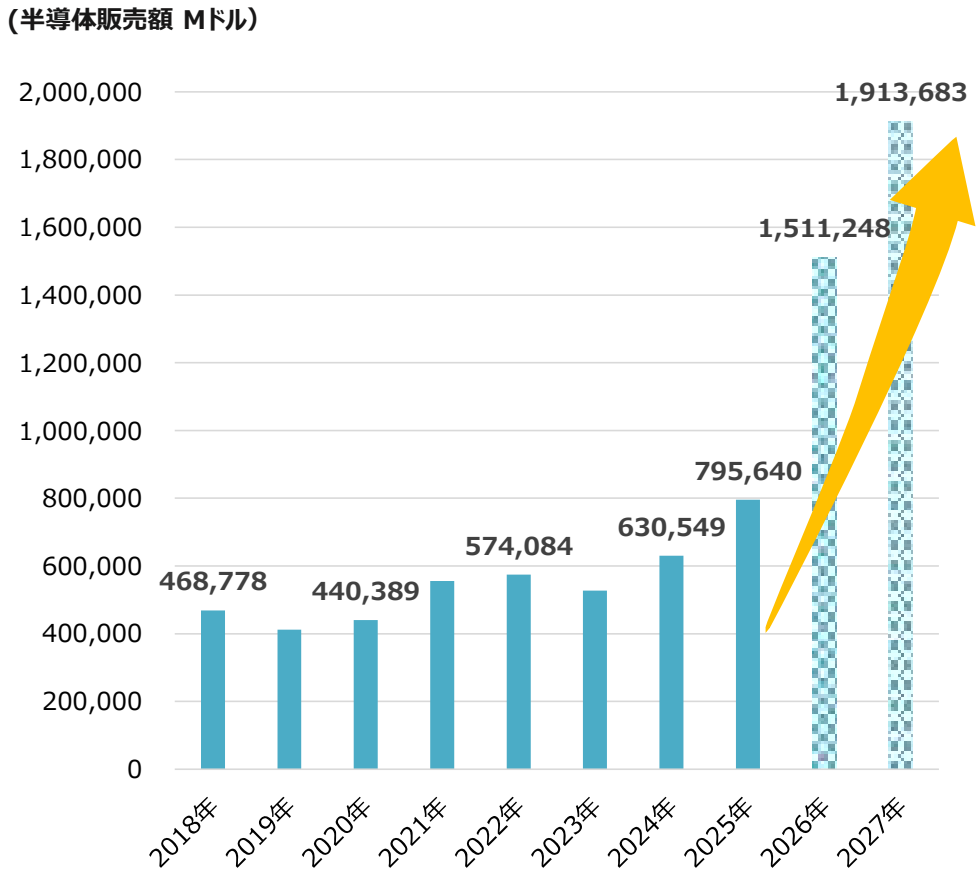
Ⅲ．新機能材としてポートフォリオ変革

- ミラリカ™(中空サブミクロンシリカ)の確実な採用

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

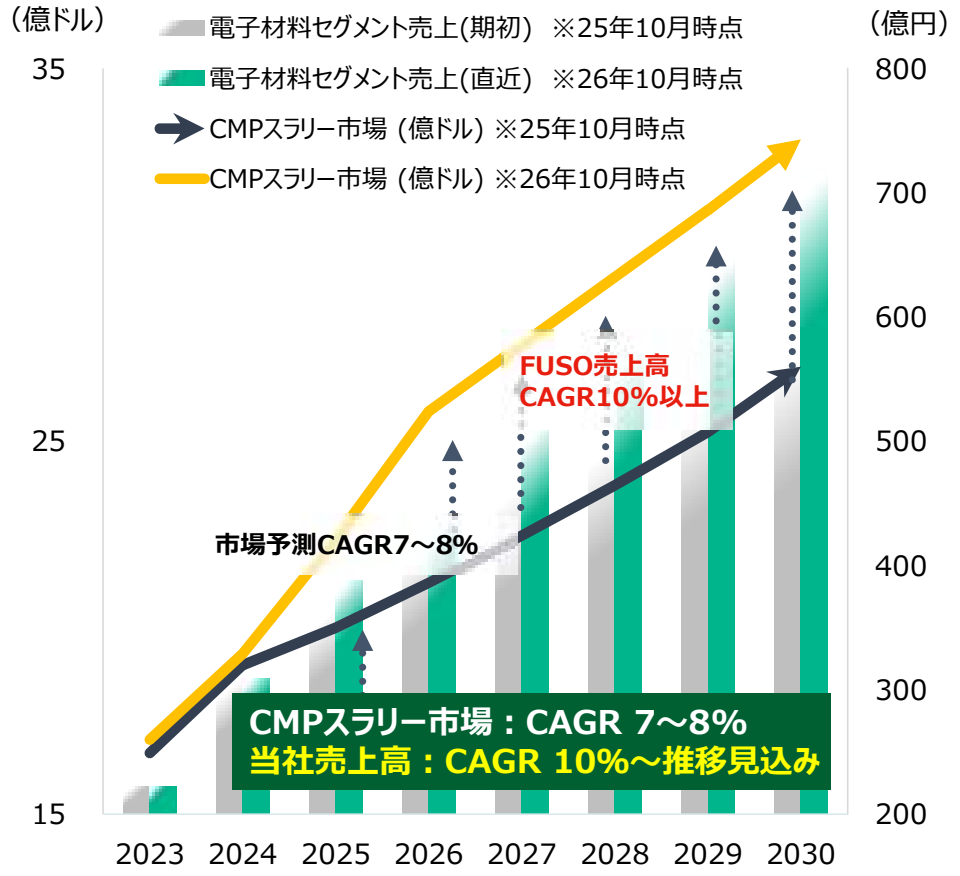
Ⅰ．急拡大する半導体市場への対応

■ 半導体市場



【引用】WSTS 2026年春季半導体市場予測

■ CMPスラリー市場/売上目標



【引用】富士キメラ総研資料を元に当社にて加工

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ-1. 生産能力のアップ

2026年度計画

- 新ライン(鹿島Ⅱ期)の早期認定

- 高濃度化及び高生産性製品の拡充
  計画生産の実現

- マルチ認定化
  既存設備の運用最適化
  保全改善/立上げ短縮

2026年度上期実績

- 当初予定より3カ月前倒し
- 第2四半期より量産開始

- 複数社にて新たに採用
- 継続して顧客認定評価を強力に推進
- 2030年度までに比率1.5倍以上目標

- 全製品の25%に対し、マルチ認定化を進捗中



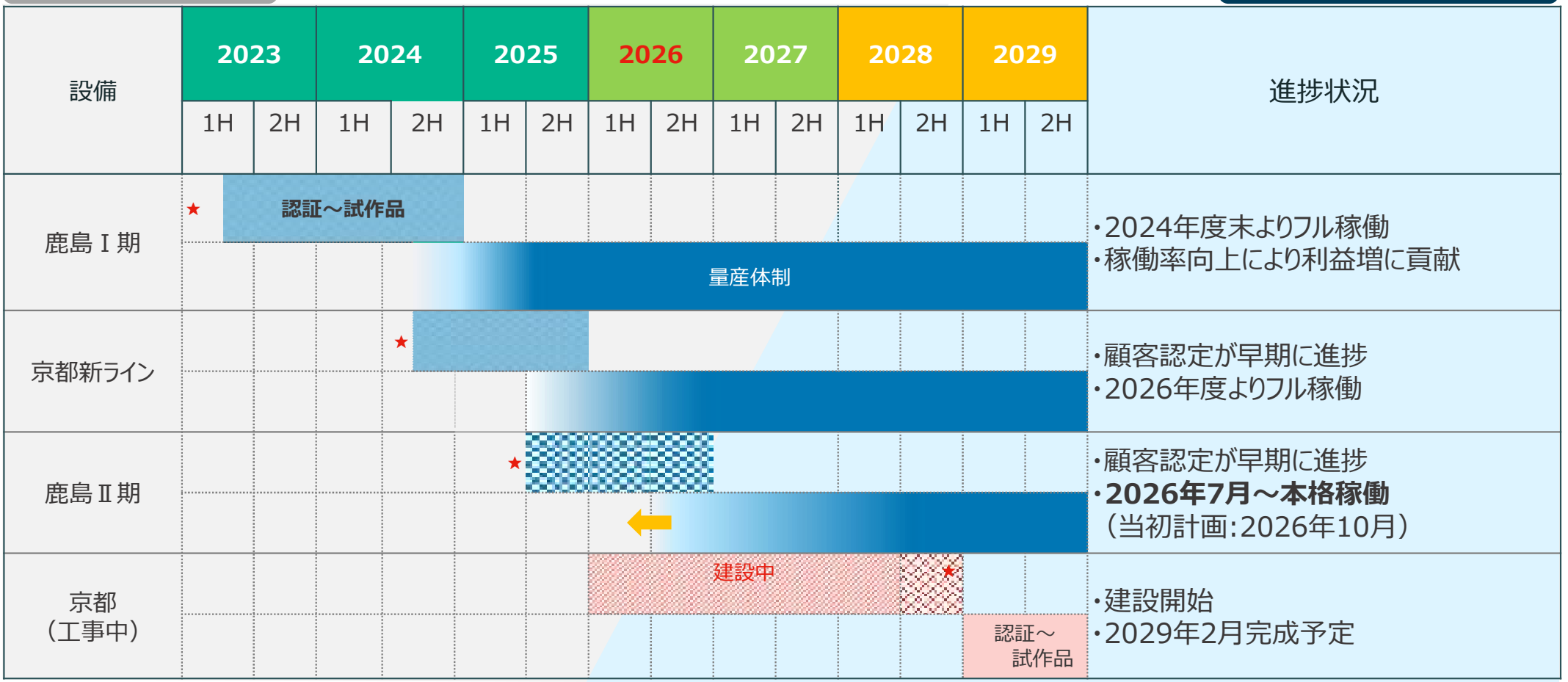
生産量は期初計画に対し、7%UPを達成

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ-1. 生産能力のアップ

2026年度計画

2026年度上期実績



© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅰ-2. 次世代に向けての取り組み

2026年度計画

- 最先端半導体・アドバンスドパッケージ
  - 最先端半導体
  - Advanced Packaging
  - BSPDN ・他可能性
- 次期設備投資への対応
  - 情報収集
  - 価格戦略構築

2026年度上期実績

- 研磨速度が速く、接合面の平坦化精度が高い、緻密な超高純度コロイダルシリカを開発
- Advanced Packaging 関連においてサンプルワーク継続
- ウエハバックサイド研磨、新規半導体研磨(Ru・Mo等)、砥粒残渣レス、凹凸制御、研磨力向上砥粒 ⇒効果検証中
- 後工程用途で顧客においてのスラリー採用情報

- 既存顧客　　：計画以上の販売物量を出荷
- 長期需要見込：顧客からの上方修正
- 新規設備　　：早期立上げの要望
- A14世代以降に向けて、高品質品の需要増

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅱ. 外部環境変化への迅速・柔軟な対応

2026年度計画	2026年度上期実績
1 価格転嫁	● 将来投資に対する負担 – 償却費増の軽減： 5～10%の値上げ実施 次期設備投資額（400億円）の一部負担 ⇒ 概ね計画通り進捗 ● 物価上昇への対応 – 想定以上のコストアップはなく、人件費・エネルギー・原材料費増は効率化にて対応
2 サプライチェーンリスクへの対応	● 金属ケイ素購入国の分散 （マレーシア・ブラジル産など 比率拡大 2030年:5割以上目標） ● 原材料高騰リスクへの対応：複数購買、使用量削減
3 中東情勢	● 燃料費・物流費等 高値での落ち着き ● サプライチェーンリスクの再検証 ● 消耗部材の消費量削減、リサイクル等の実施

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

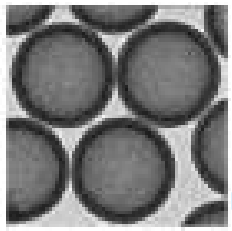
Ⅲ. 新機能材としてポートフォリオ変革

□ CMP向け

➡ ・A14未満世代向けサンプルワーク中

- 高品質・高濃度・高生産性製品
- 顧客認定作業中

□ 中空サブミクロンシリカ ミラリカ™/Miralica®



➡ 低誘電材用途向けを中心に複数社サンプルワーク継続中

- 26年度　下期量産化 製造ライン構築

□ トナー外添剤

- 26年度～　採用を目指し 複数社にサンプルワーク中

□ 化粧品用途材料

- サンプルワーク継続



□ CMP向け

・A10向け開発中
・高濃度化、及び高生産品目拡充

□ 新規材料開発

- 高純度オルガノゾル
- 多孔質シリカ
- シリカナノシート
- FDC ™法※
- シリカコート材料

※FUSO Dispersible Coat
FUSO独自の粒子コート技術

- 特許出願実施

□ nanotech展に出展

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅲ. 2027年3月期 業績予想

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

業績予想

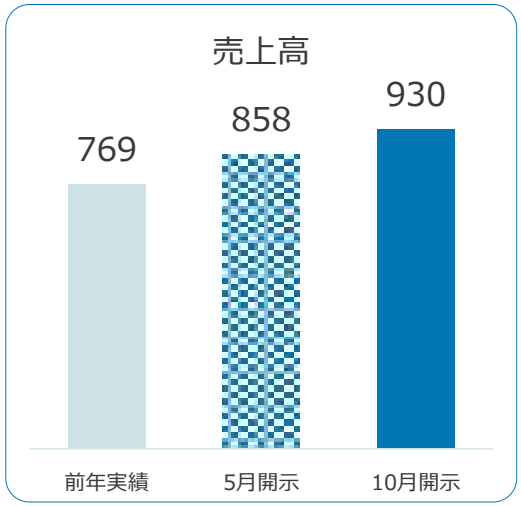
（単位：億円）

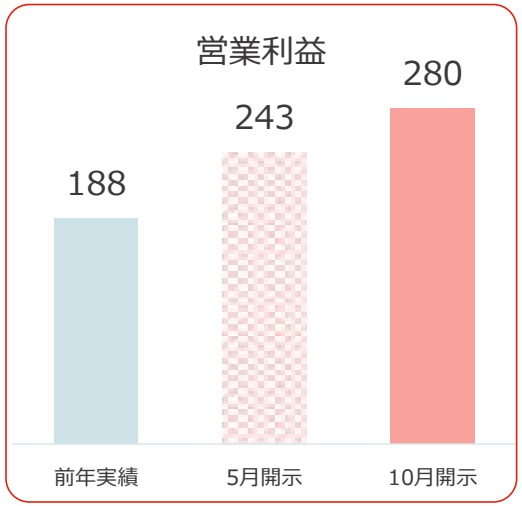
	2026年3月期	2027年3月期計画	
	実績	期初計画（5月開示）	修正計画（10月開示）
売上高	769	858	930
営業利益	188	243	280
当期純利益	143	166	219
償却前営業利益	297	370	407

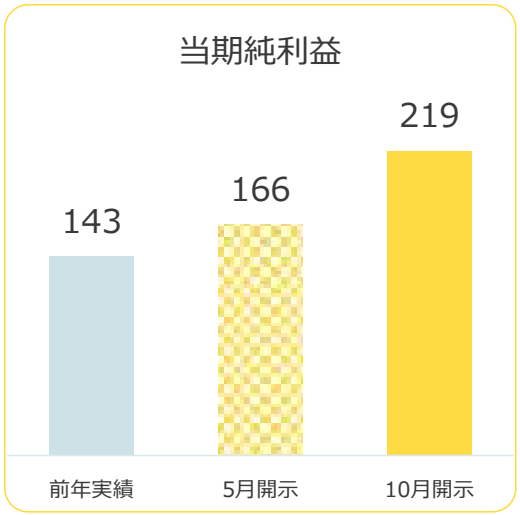
前提			
年間為替レート	150円	150円	150円
ベンゼン価格	745＄/t（年間平均）	前年並	1,028$/t（上期平均）
製造コスト	水光熱費高騰	減価償却費増加	コスト増加
その他	半導体市況回復	半導体市況拡大	AIが牽引

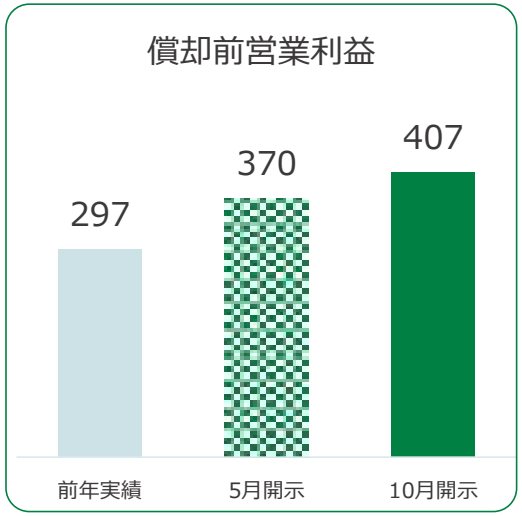
（※）ENEOS ACP価格参照

【ご参考】為替感応度（2026年3月期）　売上高　：2.1億円　営業利益：9千万円







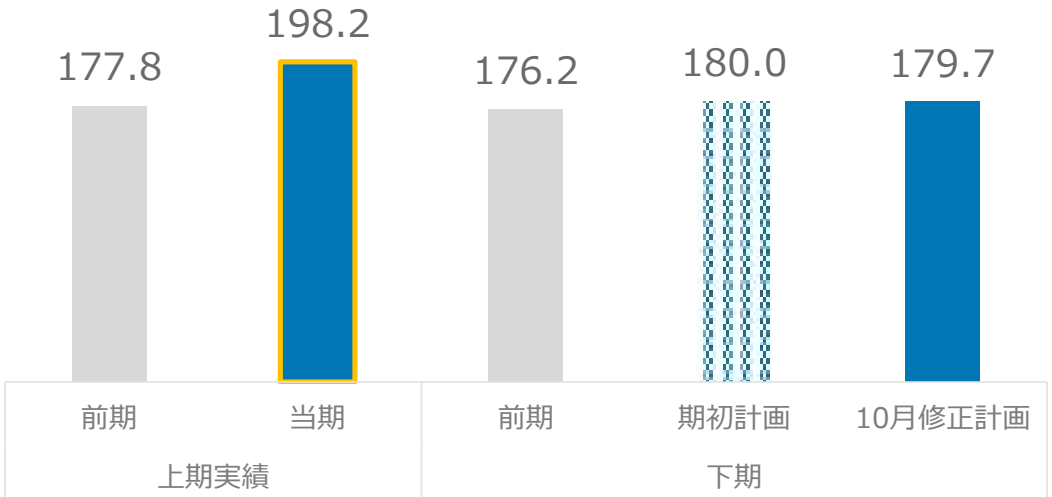


© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

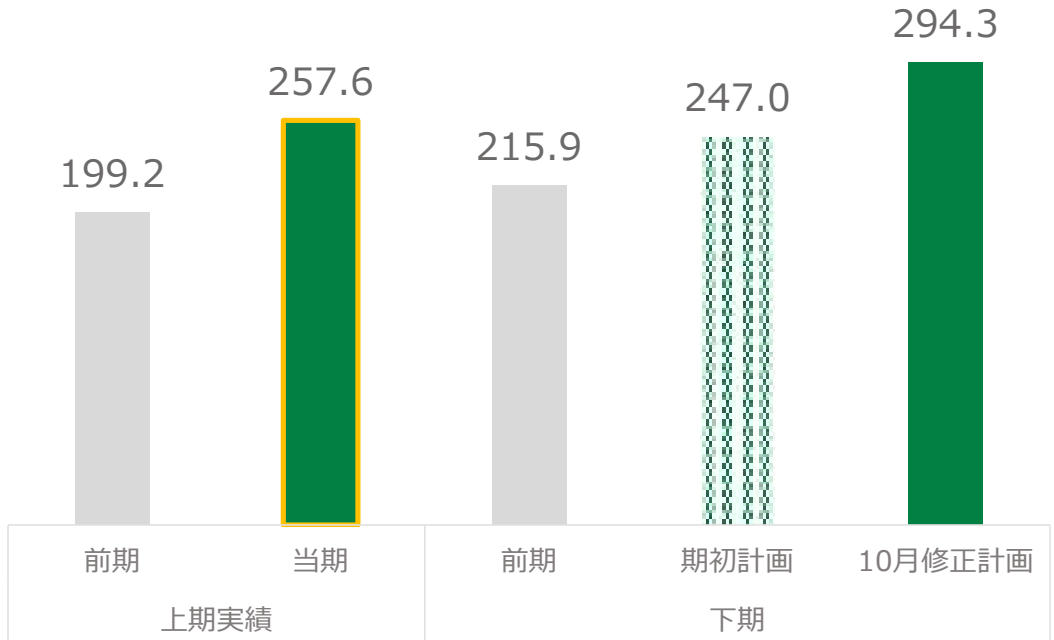
セグメント別業績予想【売上高】

売上高	2026年3月期 上期	2026年3月期 下期	2027年3月期 上期実績	前年同期比	下期計画 期初	前年同期比	下期計画 10月修正	前年同期比	通期計画 期初	前年同期比	通期計画 10月修正	前年同期比
ライフサイエンス事業	177.8	176.2	198.2	+11.5%	180.0	+2.1%	**179.7**	**+2.0%**	364.0	+2.8%	**378.0**	**+6.7%**
電子材料事業	199.2	215.9	257.6	+29.3%	247.0	+14.4%	**294.3**	**+36.3%**	494.0	+19.0%	**552.0**	**+33.0%**

ライフサイエンス事業



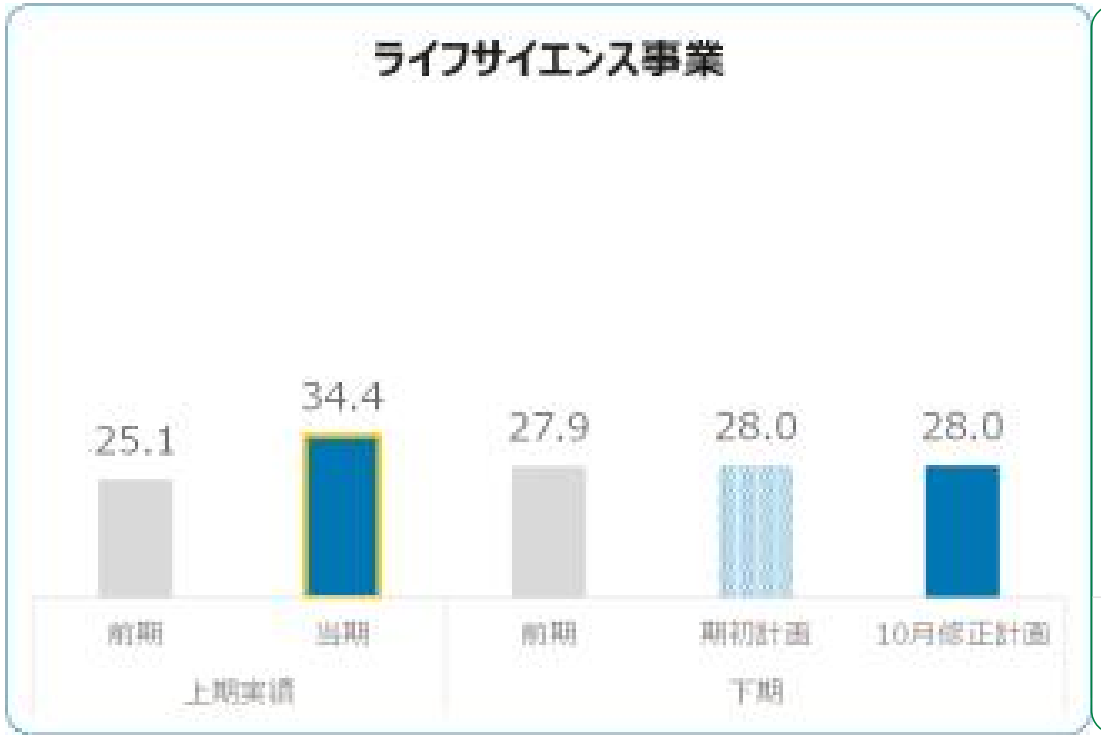
電子材料事業

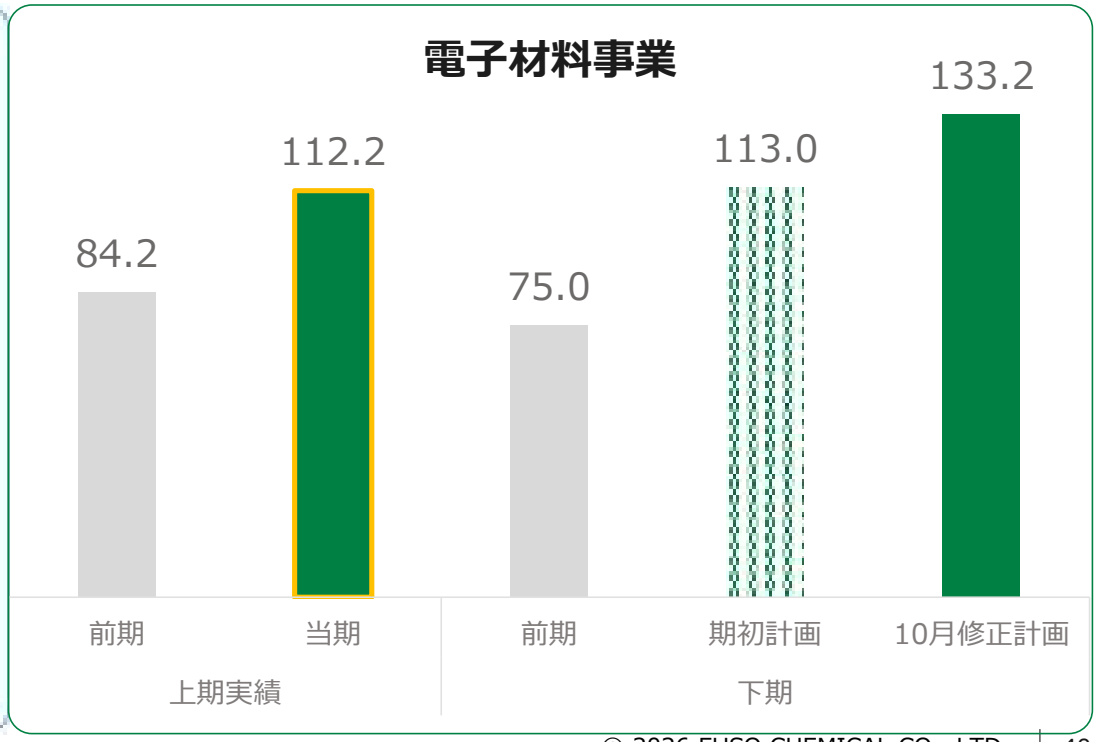


© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

セグメント別業績予想【営業利益】

営業利益	2026年3月期 上期	2026年3月期 下期	2027年3月期 上期実績	前年同期比	下期計画 期初	前年同期比	下期計画 10月修正	前年同期比	通期計画 期初	前年同期比	通期計画 10月修正	前年同期比
ライフサイエンス事業	25.1	27.9	34.4	+37.1%	28.0	+0.3%	**28.0**	**+0.3%**	55.0	+3.6%	**62.5**	**+17.7%**
電子材料事業	84.2	75.0	112.2	+33.2%	113.0	+50.6%	**133.2**	**+77.7%**	217.0	+36.2%	**245.5**	**+54.1%**

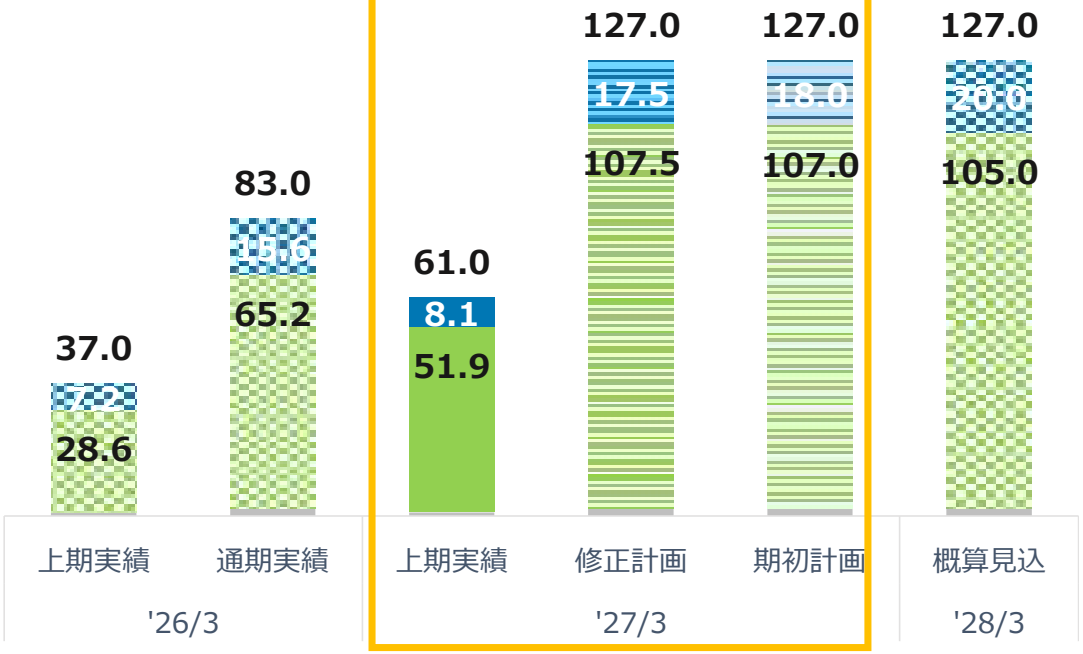




© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

減価償却費見込み

(単位:億円)	'26/3 上期実績	'26/3 通期実績	'27/3 上期実績	'27/3 修正計画	'27/3 期初計画	'28/3 概算見込
ライフサイエンス	7.2	15.6	**8.1**	17.5	18.0	20.0
電子材料	28.6	65.2	**51.9**	107.5	107.0	105.0
共通	1.0	2.1	**0.9**	2.0	2.0	2.0
合計	37.0	83.0	**61.0**	127.0	127.0	127.0



2027年3月期

- 鹿島事業所
  超高純度コロイダルシリカ新設備【第Ⅱ期】

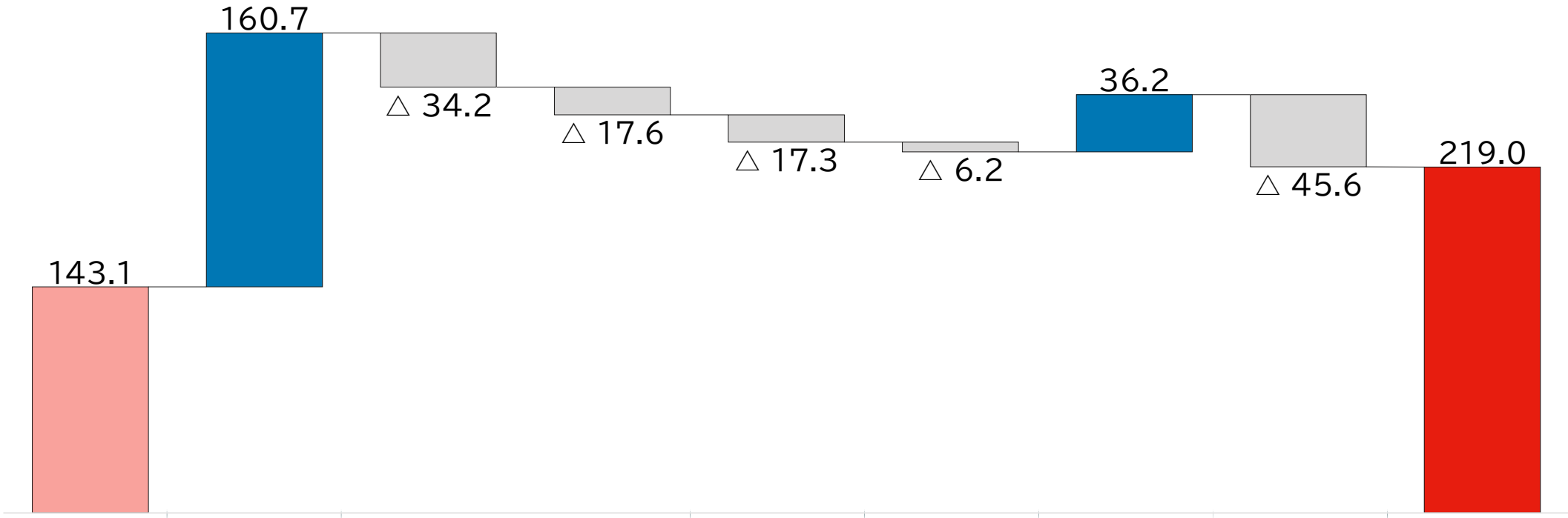
2028年3月期

- 鹿島事業所
  品質管理棟
- 大阪工場
  新事務所棟

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

2027年3月期計画　当期純利益増減要因

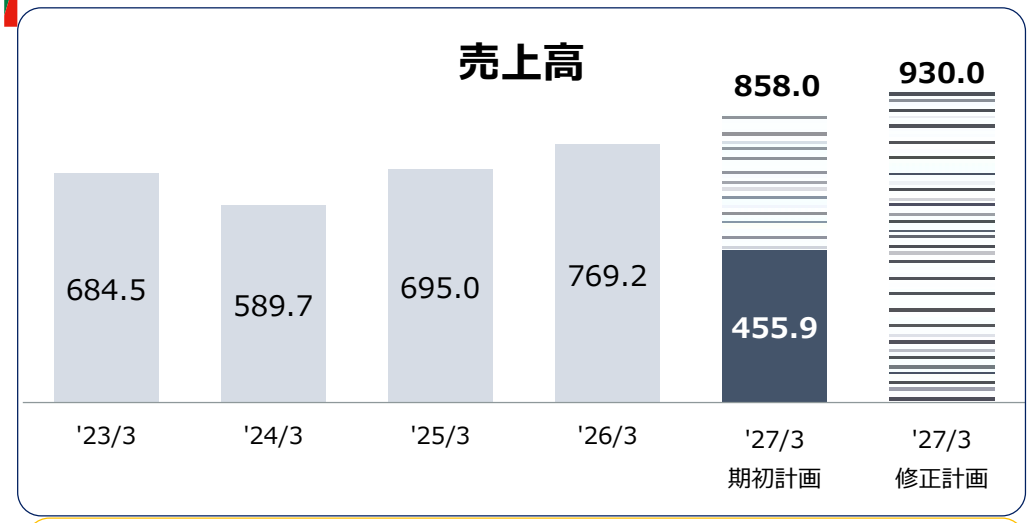
（単位：億円）

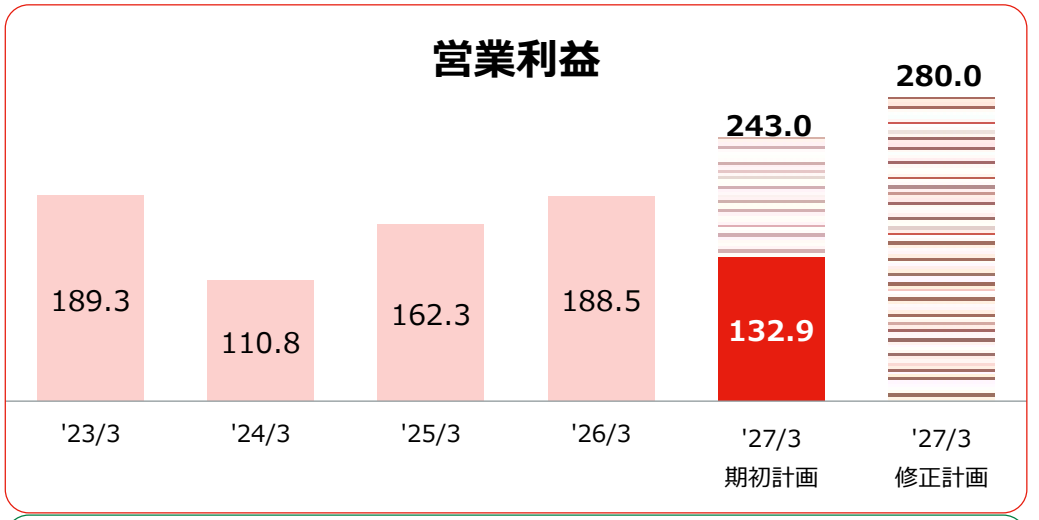


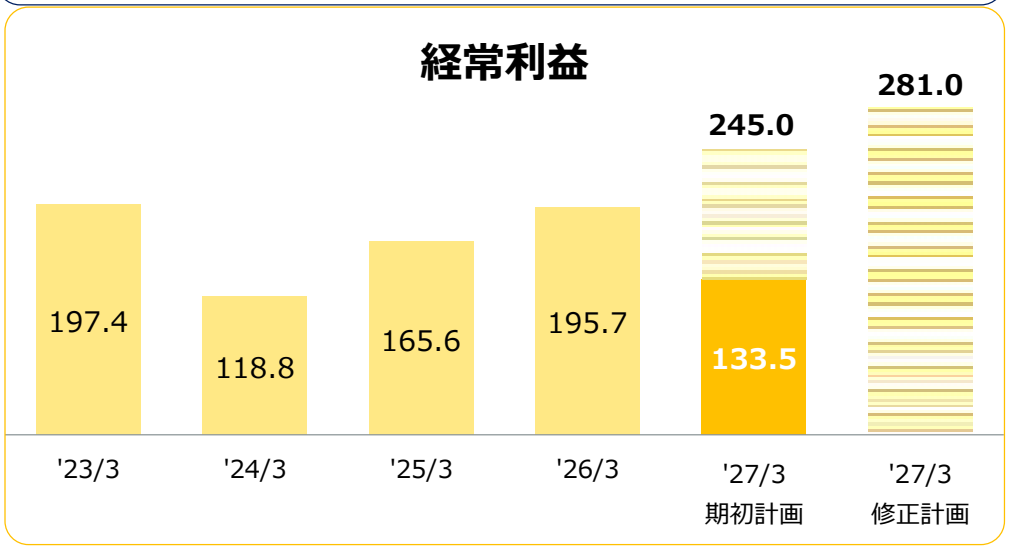
2026年3月期 当期純利益	売上高	売上原価		販管費	営業外損益	特別損益	法人税等	2027年3月期 当期純利益（計画）
		減価償却費を除く	減価償却費					

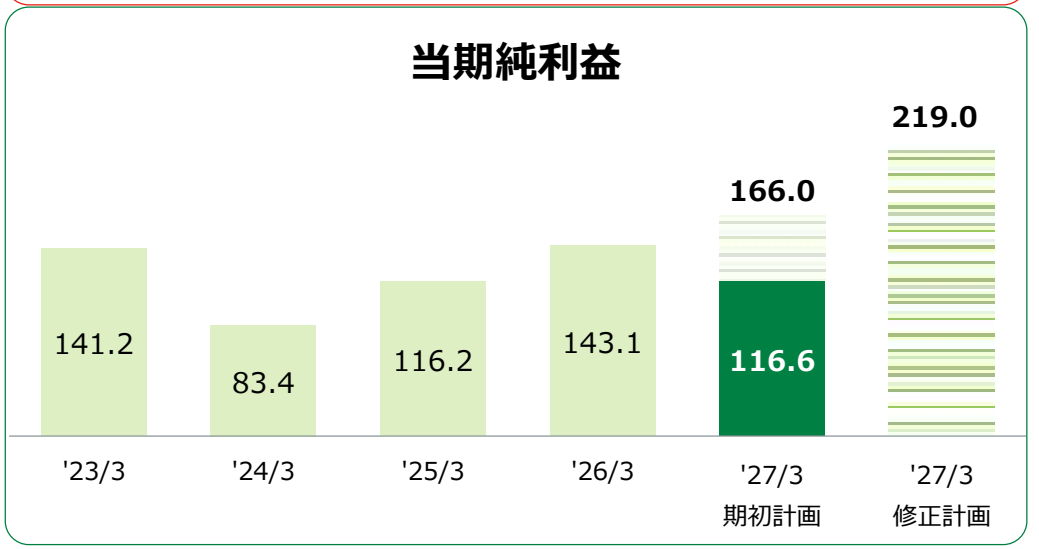
© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

業績推移および予想









（単位：億円）

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

TOPICS

東大阪研究所　起工式



新研究所 完成イメージ図

2026年10月
新研究所の起工式を実施

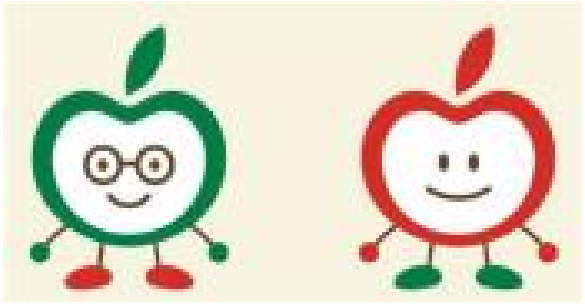
2028年2月に竣工、同年春に稼働開始予定。両事業部の商品開発部を集約し、部門を越えた交流や技術融合を促進します。

厚生労働省 「くるみん認定」 初取得

2026年9月

従業員の仕事と育児の両立に向けて
・男性育児休業の取得促進
・時間外労働の抑制
・年次有給休暇の取得促進等
これまでの取り組みが評価されました。

コーポレートキャラクター誕生
【FUSO探検隊】



「みっけりん」　「つくりん」

「発見と創造」を体現する
FUSO探検隊が誕生！

好奇心溢れる**「みっけりん」**が素材や自然の可能性を発見し、創造力に富んだ**「つくりん」**が社会に役立つ価値へと変えていきます。

『統合報告書』 初版　公開



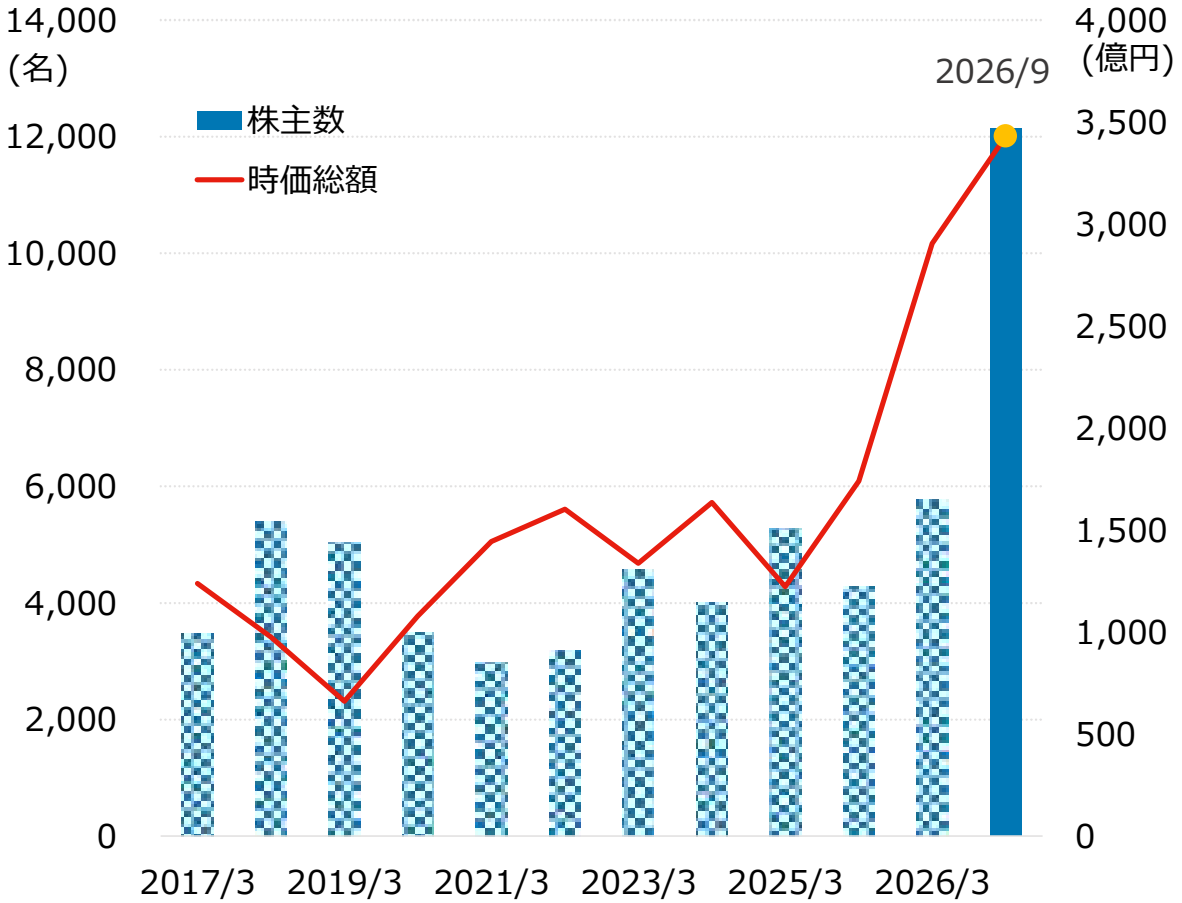
2026年9月

本報告書では、当社の価値創造プロセス、中長期的な成長戦略、人的資本経営ならびにサステナビリティへの取り組みについてご紹介しています。

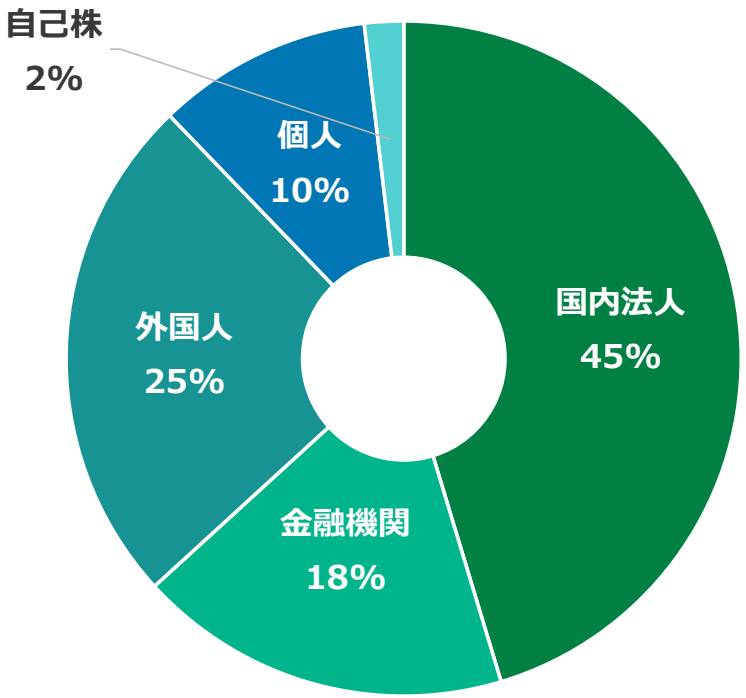
© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

株式情報

株主数・時価総額



株主構成



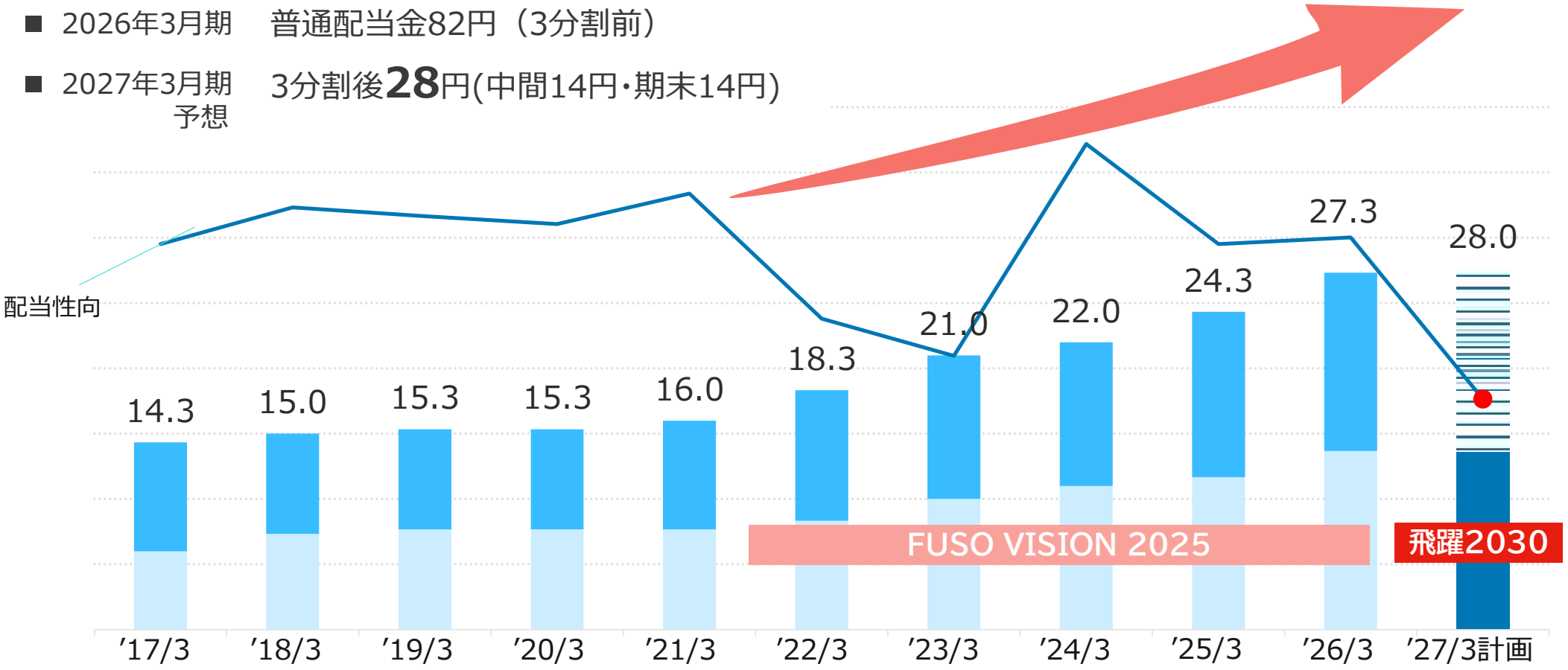
2026年9月末現在

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

株主還元

- 株主還元方針　長期にわたり安定的に株主の皆様に報いるため、累進配当の考え方を採用
- 2026年3月期　普通配当金82円（3分割前）
- 2027年3月期予想　3分割後**28**円(中間14円・期末14円)

※2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施



© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

中期経営計画　飛躍2030　進捗状況

	経営目標	2025年度実績	2026年度 当初計画	2026年度 修正計画 2027年3月	経営目標 2031年3月
売上高	1,200 億円	769	858	930	1,200
営業利益	360 億円	188	243	280	360
償却前営業利益	567 億円	297	370	407	567

2026年度～2030年度　中期計画

- 売上高 5割アップ(2025年度比)
- 営業利益率 30%確保
- 安定供給と品質・供給責任による成長と収益の実現

市場価値

- 売上高CAGR　9%以上
- ROIC　13%以上
- 株主還元　累進配当の継続 200億円以上の還元

人的資本価値

- エンゲージメントスコア 2025年度比10%向上
- 平均年収 2025年度比30%以上年収増

【前中期経営計画】 FUSO VISION2025

	2021年度	2024年度	2025年度	2026年度	最終年度 2030年度
換算レート（計画）（1＄＝150円）	107円 (策定当初)	152円	150円	150円(上期:159円)	150円

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

中期経営計画　事業の成長戦略

◆ ライフサイエンス事業（単位：億円）

売上高	営業利益	償却前営業利益
2025年度 354	2025年度　53	2025年度　69
2030年度 430	2030年度　75	2030年度　95
（CAGR: 4.0%）	（CAGR: 7.2%）	（CAGR: 6.5%）

- グローバル連携の強化
- 調査・マーケティング施策強化
- コアコンピタンス強化
- 安定供給、品質保証の維持・強化

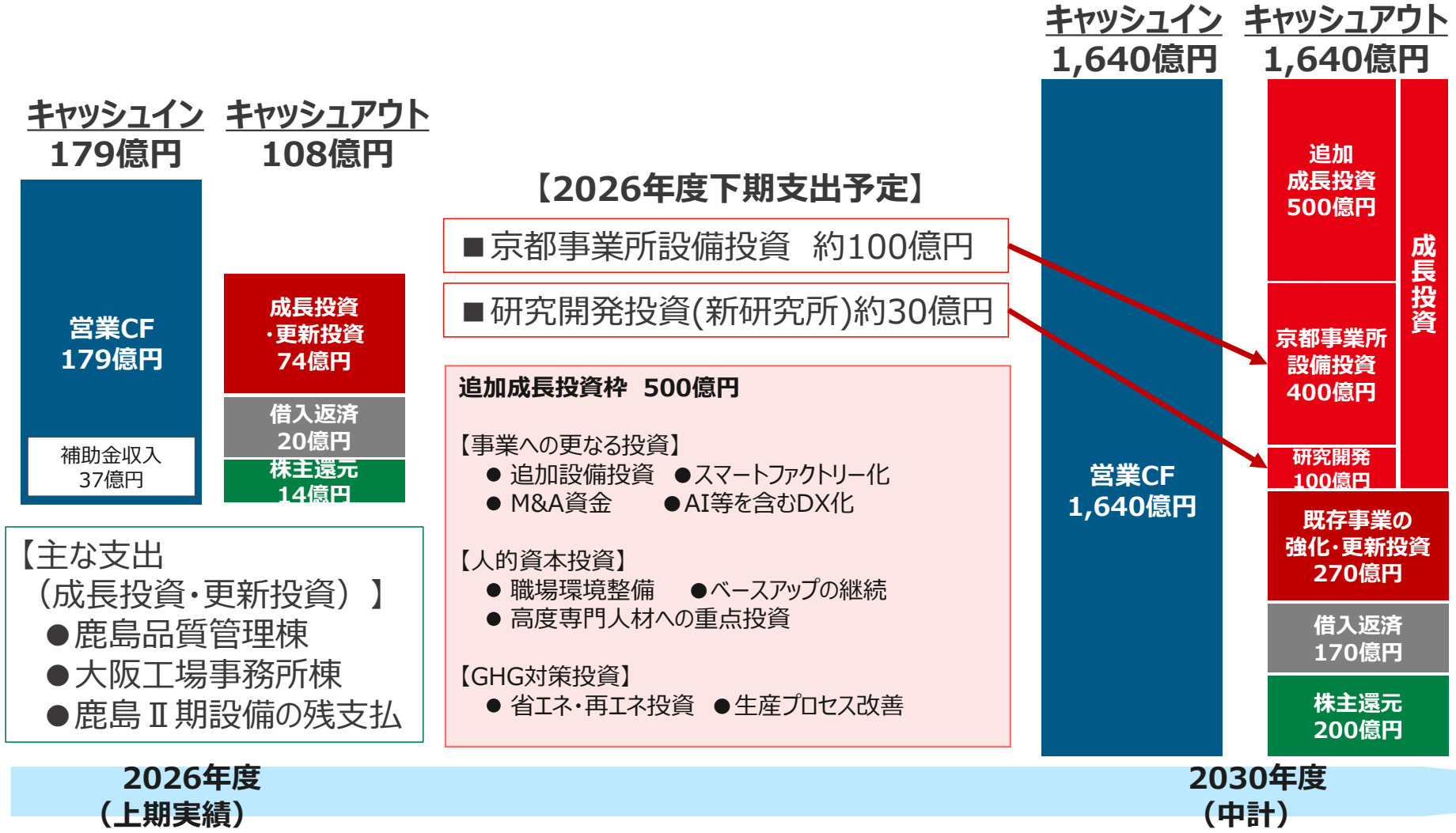
◆ 電子材料事業（単位：億円）

売上高	営業利益	償却前営業利益
2025年度 415	2025年度 159	2025年度　250
2030年度 770	2030年度 320	2030年度　505
（CAGR: 13.2%）	（CAGR: 15.0%）	（CAGR: 15.1%）

- 供給と品質の安定
- 最先端要求への対応
- コア技術を活かした新展開
- 基盤強化

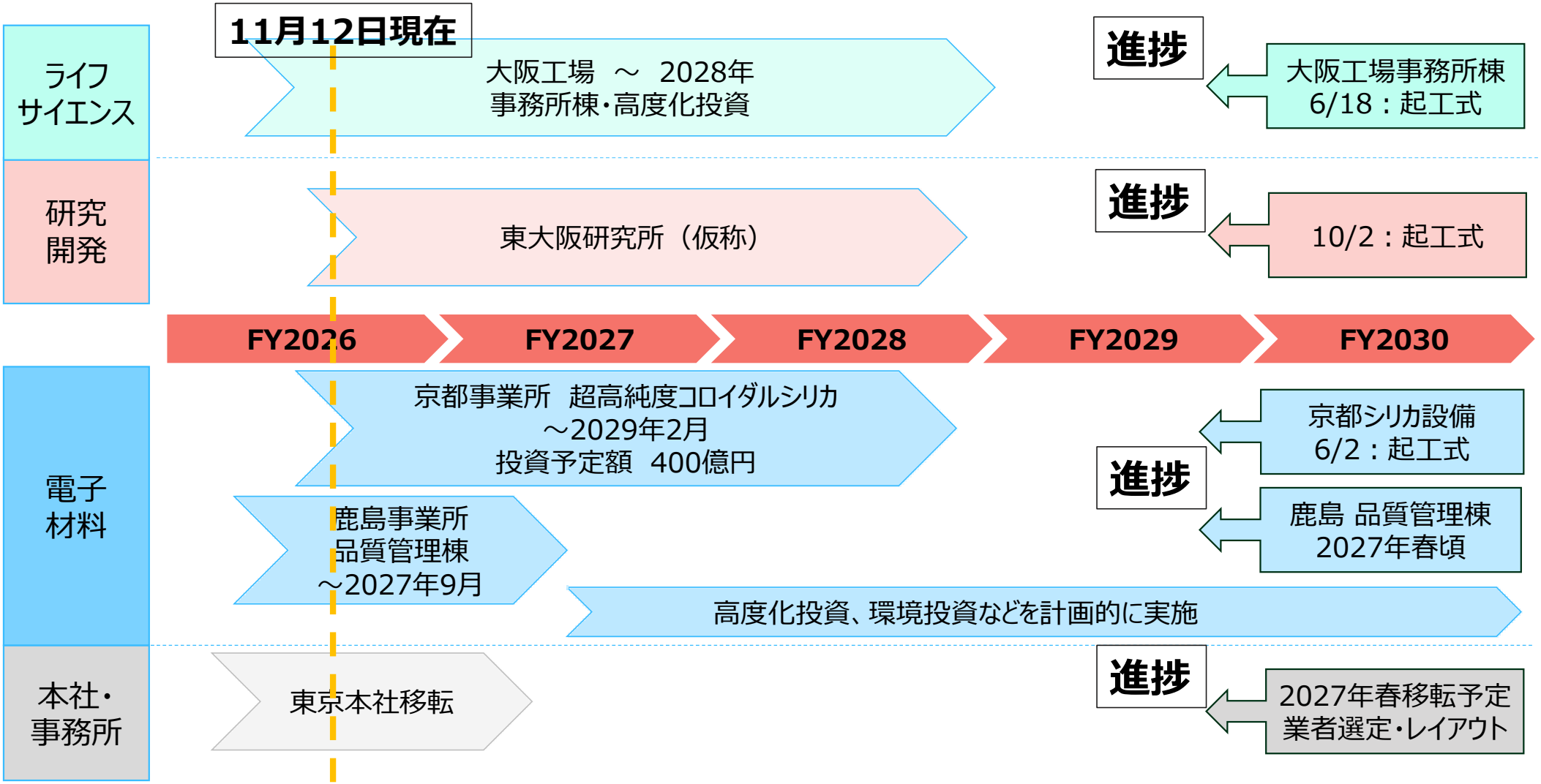
© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

中期経営計画 キャッシュアロケーション



© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

中期経営計画　主要な設備投資計画



© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Ⅳ. Q & A

FUSO CHEMICAL

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Q&A

No.	質問	回答
1	米国中間選挙後、AIに逆風が出ている印象があります。今後の見通しをお聞かせください。	顧客や半導体メーカーの見方は総じて強気です。成長ペースが鈍化する可能性はあるものの、半導体市場の成長が大きく落ち込むことはないと考えています。
2	三菱ケミカル社の超高純度コロイダルシリカへの参入について、御社製品との違いや競争への影響、さらにフロントエンドなどの先端領域まで競合する可能性をどのように見ていますか。	製品としての基本的な違いはなく、ターゲットも同じと考えています。ただ設備規模は小さく完成も2028年10月予定との事ですので、当面大きな影響はないと考えています。
3	三井化学社によるJSR社の買収発表は、当社の取引に影響しますか。	現時点で、当社の取引に影響はないと考えています。
4	値上げの効果は4月から全面的に表れていますか。それとも第2四半期からでしょうか。	顧客ごとに適用開始時期が異なるため、明確に区分することは困難です。
5	電子材料事業の第2四半期は、売上高が第1四半期を下回る一方、営業利益は増加しました。その要因をお聞かせください。	第2四半期から鹿島Ⅱ期設備がフル稼働となり、売上原価に直接計上される減価償却費が減少したことが主な要因です。
6	2026年度下期は高いEBITDAマージンとなっていますが、今後もこの水準を維持できますか。	今後も販売数量の拡大、価格転嫁や生産性の向上により、高い収益性の維持を目指します。
7	高濃度品やマルチ認定の効果について、お聞かせください。	高濃度化により単位時間当たりの生産量が増加し、生産能力の向上が可能となります。また、マルチ認定の取得により、より効率的な生産が可能となり、生産能力の向上につながります。
8	新たな用途（CMP用途のインターポーザー向け、非CMP用シリカ）の進捗状況や、非CMP用シリカの対象顧客、基板用樹脂材料向けなどの用途展開について、お聞かせください。	非CMP用シリカでは、半導体パッケージ基板向けの絶縁材料分野への参入を目指しています。

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

本資料に記載されている、将来の見通しに関する記述・数値は、グループ各社の現時点での入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確定な要因も含まれており、その達成を当社として約束するものではありません。

また、実際の業績等は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、為替動向等、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.

Chemicals for Human Life

FUSO

© 2026 FUSO CHEMICAL CO., LTD.